

平成 28 年（2016 年）熊本県熊本地方を震源とする地震
非常災害対策本部会議（第 11 回）

議 事 次 第

日時：平成 28 年 4 月 20 日（水） 15：30～
場所：官邸 4 階大会議室

1. 安倍内閣総理大臣 挨拶

2. 被害状況及び各省庁の対応状況について
3. その他

熊本地震についての対応状況

平成28年4月20日(水) 15時30分
消防庁災害対策本部
※下線部は前回からの変更点

1 消防の活動状況 消防全体で5,632名
(20日12:00現在)

(1) 緊急消防援助隊 ※ 活動地域は全て熊本県
537隊 1,958名 (ヘリは18機)

(2) 地元消防機関
【熊本県】 消防隊 435名、消防団員 3,239名

2 緊急消防援助隊の20日の活動

- ① 南阿蘇村の河陽高野台地区
大阪府、広島県、山口県、徳島県、高知県の各隊が地滑りによる行方不明者の捜索救助活動を実施
- ② 南阿蘇村の阿蘇大橋
岡山県、鳥取県、香川県、愛媛県の各隊が地滑りによる行方不明者の捜索救助活動を実施
- ③ 熊本市内
京都府、兵庫県、島根県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の各隊が警戒活動を実施

(熊本県南阿蘇村の状況)

- ・河陽高野台地区及び阿蘇大橋において、緊急消防援助隊及び地元消防本部が、警察・自衛隊と連携した捜索救助等を実施した。

3 消防庁の対応

- (1) 熊本県、阿蘇市、南阿蘇村において消防庁職員9名が現地での関係機関及び地方公共団体と連携した活動を実施
- (2) 熊本県から要望のあった毛布7.6万枚及び簡易トイレ2,750個について、調達搬入を実施中

【毛布】

静岡県、大阪府、広島県、関西広域連合に協力を求め、7万枚は17日に、0.6万枚は18日に佐賀県鳥栖市の仕分け所に搬入済み

【簡易トイレ】

千葉県、東京都に協力を求め、18日に福岡県久山町の仕分け所に向けて搬出し、20日午前中に一部搬入開始

※ その他、指定都市市長会の協力により、毛布1.1万枚を17日に、毛布0.4万枚を18日に熊本県民総合運動公園(熊本市)に搬入済み

4 避難指示・避難勧告発令状況（20日11:00現在）

- ・避難指示：4市1町1村（1,441世帯 3,617名）
- ・避難勧告：2市6町1村（29,680世帯 74,529名以上）

都道府県名	市区町村名	避難指示			避難勧告			
		対象世帯数	対象人数	指示日時	対象世帯数	対象人数	勧告日時	
熊本県	八代市	3	12	4月19日 10時30分				
	菊池市				700	2,000	4月18日 13時30分	
	宇土市	72	99	4月18日 10時00分				
	宇城市		4	12	4月19日 17時30分			
			22	59	4月19日 19時15分			
			2	5	4月19日 21時30分			
	阿蘇市		342	922	4月18日 23時15分			
						214	569	4月19日 7時30分
						204	605	4月19日 14時30分
	美里町					76	229	4月17日 13時45分
	大津町					13,531	34,090	4月16日 3時44分
	産山村					627	1,584	4月18日 20時52分
	高森町					2,866	6,743	4月16日 19時00分
	南阿蘇村	994	2,503	4月16日 16時15分				
	御船町					7,133	17,681	4月16日 22時00分
	益城町					30	不明	4月19日 22時02分
甲佐町					4,299	11,028	4月16日 16時50分	
		2	5	4月18日 18時10分				
合計(発令中)		1,441	3,617		29,680	74,529		

5 避難所の状況

【福岡県】	15箇所	22名	(20日10:00現在)
【長崎県】	2箇所	6名	(20日10:00現在)
【熊本県】	660箇所	103,380名	(20日9:00現在)
【大分県】	38箇所	561名	(20日7:00現在)
【宮崎県】	避難所を閉鎖		(19日20:50現在)

平成 28 年熊本地震への海上保安庁の対応

1. 対応勢力 (4 月 19 日)

- 船 艇：13 隻 (のべ 193 隻)
住民支援対応 6 隻 / 即応待機 7 隻
- 航空機：4 機 (のべ 41 機)
即応待機 (固定翼機 1 機、ヘリ 3 機)
- 機動救難士等：6 名 (のべ 43 名)
即応待機

2. 対応状況 (4 月 19 日)

- 港での住民支援 (熊本港、三角港、八代港)
巡視船 6 隻により、給水、入浴提供、携帯電話充電等
の住民支援を実施
給水量 約 23 トン (累計 約 122 トン)
入浴者数 529 名 (累計 1044 名)
- 避難所等への生活物資支援
(熊本市、宇土市、菊陽町、高森町)
ヘリ等により、生活物資 (飲料水、食料、毛布等) の
搬送を実施
搬送量 食料約 9 千食分、飲料水約 5 千リットル
(累計 食料約 1.3 万食分、飲料水約 1 万リットル)
- 緊急医療支援
ヘリにより、熊本空港～南阿蘇村間において医師等の
搬送を実施
搬送人数 8 名 (累計 16 名)

平成28年熊本地震への海上保安庁の対応

4月19日現在



港での住民支援

- ▶ 期間：4/16~4/19
- ▶ 内容：給水量約122トン
入浴者1044名 ほか



6隻が対応中

対応勢力 (のべ)

- ▶ 巡視船艇：193隻
- ▶ 航空機：41機
- ▶ 機動救難士等：43名

緊急医療支援

- ▶ 期間：4/16~4/19
- ▶ 内容：搬送人数16名



避難所等への生活物資支援

- ▶ 期間：4/17~4/19
- ▶ 内容：食料約1.3万食
飲料水約1万リットル ほか



平成28年熊本地震にかかると防衛省・自衛隊の対応

4月19日(火) 自衛隊の給食支援活動及びCH-47による物資輸送



活動場所: 阿蘇西小学校



活動場所: 福岡空港

平成28年4月20日
防 衛 省

平成28年熊本地震における部隊現況・実績(1/2)

災害派遣要請	<ul style="list-style-type: none"> ○ 14日(2240) 熊本県知事から災害派遣要請 ○ 19日(0236) 大分県知事から災害派遣要請 	<p>防 衛 省 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 省災害対策本部会議 #1(14日2245)～#13(19日1825) ○ 統合任務部隊の編成(16日0455) ○ 即応予備自の招集(17日1718) 20日1630 #14省災害対策本部会議 	活動の態勢	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人員:約2.2万人 ○ 航空機:114機 (内、ヘリ90機) ○ 艦艇:12隻
現地 ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模な土砂崩れや、多数の倒壊した家屋が確認されていることから、引き続き人命救助の必要性 ○ インフラ遮断の長期化及び10万人を超える避難者に基づく、生活支援ニーズ(物資補給、入浴支援等) ○ 引き続き、給水及び給食支援の必要性 ○ 熊本県からの新たな支援のニーズ ① 県との調整の下、阿蘇地区の瓦礫除去(俵山ロード、ミルクロード) ② 益城町の生活道路を塞いだ倒壊家屋の撤去 			
運用 構想	<ul style="list-style-type: none"> ○ 23日までに2.6万人態勢を構築(増大する生活支援ニーズに対応するため態勢を強化) ○ 防衛省が契約する民間船舶「はくおう」を、被災されている方々の休養施設として活用。 ○ 北方増援部隊(第2次転用部隊)の速やかな統合輸送 → 18日から輸送開始(護衛艦いずも、空自C-1/C-130H、米軍C-130) ○ 被害が甚大な地区(南阿蘇村、益城町等)を重視し、組織的に災害派遣活動(人命救助、生活支援等)を実施 この際、各自治体との密接な連携を保持 ○ 避難所への支援物資の輸送推進 (非常災害対策本部物資調達・輸送班(内閣府)と連携し、救援物資の一部を空自入間基地及び小牧基地に搬入後、自衛隊輸送機により高遊原分屯地へ搬入し、自衛隊車両により避難所へ全力で輸送) ○ 即応予備自衛官の災害等招集命令17日発令、最大300名を逐次戦力投入 			
日米 調整	<p>【20日の活動に関する調整状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道～九州間の米軍C-130×1による人員及び車両の輸送調整済み ○ 米軍MV-22(オスプレイ)×2を使用した生活支援物資等の輸送調整済み 			

※ 修正・追加事項は赤字表記
強調事項は青字表記

平成28年熊本地震における部隊現況・実績(2/2)

人命救助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人命救助・行方不明者搜索【累計:11名】 <ul style="list-style-type: none"> 19日分、2名(心肺停止:南阿蘇村高野台地区(0827)、火の鳥ペンション(1712)) 20日分、1名(心肺停止:南阿蘇村高野台地区(0903))(南阿蘇村10名、益城町1名) ※ 南阿蘇村における人命救助・行方不明者搜索の部隊規模:第13旅団基幹(約1,700名) ○ 病院等の患者の輸送【累計:463名】:19日分、51名(益城町、球磨郡多良木町) ○ 被災者の安全確保のための人員輸送【累計:727名】:19日分、1名(阿蘇市) ○ DMAT輸送:【累計94名】
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物資輸送(計18→46か所)【累計:毛布 26,122枚、日用品12,760箱、食料品78,407食、飲料水 188,548本】 <ul style="list-style-type: none"> 19日分、毛布 1,100枚、日用品 6,380箱、食料品11,149食、飲料水86,448本 (阿蘇市、熊本市、菊池市、山鹿市、合志市、南阿蘇村、宇城市、美里町、甲佐町、八代市) ○ 給食支援(計19か所→37か所)【累計:291,966食】 <ul style="list-style-type: none"> 19日分、120,261食(益城町、阿蘇市、熊本市、南阿蘇村、嘉島町、宇城市、美里町、甲佐町) ○ 給水支援(計90か所→91か所)【累計:1,992.2t】 <ul style="list-style-type: none"> 19日分、802t(熊本市、益城町、宇城市、阿蘇市、南阿蘇村、小国町、菊池市、合志市、玉名市、嘉島町、御船町、玖珠町、九重町、日田市、由布市) ○ 入浴支援(計7か所→12か所)【累計:8325名】 <ul style="list-style-type: none"> 19日分、5,922名(嘉島町、阿蘇市、熊本市、益城町、菊陽町、大津町、西原村、南阿蘇村) ○ 天幕支援(計5か所)【累計:31張】:(南阿蘇村、由布市) ○ 医療支援(計4か所→5か所)【累計:714名】: <ul style="list-style-type: none"> 19日分、186名(熊本市、益城町、宇城市、嘉島町) ○ 瓦礫除去(計1→7か所)【累計:約30m→約2.1km】:19日分、約2.1km(阿蘇市) <p>【政府による生活支援物資の輸送等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本通運鳥栖流通センター(熊本県指定搬入場所)・福岡市青物市場跡・春日基地に集積された生活支援物資を、自衛隊機及び大型トラックにより、高遊原分屯地(熊本)・アピカ多目的グラウンド等へ輸送 ○ 小牧基地(愛知)に集積された食料を空自機により、高遊原分屯地(熊本)へ輸送 ○ 米軍MV-22(オスプレイ)×2機により、生活支援物資(水、食料等)を白水運動公園を経て避難所へ輸送

自衛隊の生活支援の実績(4月19日分) 1/2

物資	
阿蘇市(陸)	農村公園あびか
阿蘇市(空)	農村公園あびか
	熊本中央城彩苑
	アクアドーム
	ふれあい館
	泉ヶ丘市民センター
	城北支所
	龍田出張所
	西原中学校
	弓削小学校
	益城病院
	東区東部浄化センター
	楡木小学校
	清水小学校
	清水中学校
	清水支所
熊本市	うまかな・よかなスタジアム
	北区役所
	東部浄化センター
	錦が丘小学校
	健軍東小学校
	西原小学校
	東陵高校
	シエロアモール長嶺
	長嶺中学校
	桜木中学校
	長嶺小学校
	西原中学校
	五福小学校
	九州補給処健康支所

菊池市	菊之池体育館
山鹿市	菊之池小学校
合志市	山鹿市各避難所
	合志市役所
	南阿蘇村役場
	長陽、下野
	白水
南阿蘇村	久木野
	長陽
	道の駅あその郷
	白水運動公園
宇城市	宇城市役所
美里町	湯ノ瀬園
	※
甲佐町	甲佐町役場
八代市	八代市役所
益城町	熊本空港

※ポイント名称確認できず

箇所数	46箇所
毛布	1,100枚
日用品	6,380箱
食料品	11,149食
飲料水	86,448缶
毛布	26,122枚
日用品	12,760箱
食料品	78,407食
飲料水	188,548本
19日合計	
累計	

* 自衛隊備蓄品の配布を含む。



給食

益城町(陸)	飯野小学校
	総合体育館
	ひろやす西小学校
	総合体育館
益城町(空)	広安西小学校
	一宮小学校
	内牧支処
	阿蘇西小学校
	阿蘇小学校
	阿蘇中学校
	内牧支所
	一宮小学校
	力合西小学校
	五福小学校
阿蘇市	熊本南区役所
	常山西小学校
	江南中学校
	花園出張所
	西原村中学校
	西山中学校
	錦力丘公園
	城西小学校
熊本市	龍田西小学校
	立野小学校
	東海大学
	下野公民館
	長陽中学校
	九木野福祉センター
	白水庁舎
	西小学校
	道の駅あその郷
南阿蘇村(空)	白水運動公園
嘉島町	嘉島中学校
宇城市	宇城市役所
美里町(空)	延用中学校
美里町(空)	美里町中央庁舎
甲佐町(空)	甲佐町役場

箇所数	37箇所
19日合計	120,261食
累計	291,966食



自衛隊の生活支援の実績(4月19日分) 2/2

給 水

宇城市	日本赤十字病院
阿蘇市	阿蘇中学校 阿蘇西小学校 内牧支処 中道公民館 老人ホームあそん里 尾ヶ石東部小学校 阿蘇くまの里 赤水公民館 乙姫公民館 枳公民館 阿蘇の里パラパークホテル 下黒川JASスタンド 乙女の家 たちばな園 市立体育館 白水庁舎 杖立多目的広場 隈府小学校 菊之池小学校 戸崎小学校 旭志総合支所 迫水小学校 中野クリニック 医師会病院 合志市役所 合志南小学校 玉名市役所 横島公民館 尾田天満宮 北横内 横内 丸尾 嘉島西小学校 嘉島東小学校 町民体育館 御胎町
熊本市 (陸)	第2高校 曙第2クリニック 鳥田病院 平山クリニック 日本赤十字病院 熊本泌尿器科病院 益城地区巡回 熊本市及び益城町巡回 熊本市役所 大津生涯学習センター 菊陽病院 西日本病院 日隈病院 南区役所 桑原クリニック ながみねクリニック 白藤園 熊大附属病院 循環器科病院 悠心病院 平山クリニック 日本赤十字病院 ながみねクリニック 必由館高校 五福小学校 江南中学校 東稜高校 熊本北高校 二の丸公園 東区役所 西区役所
熊本市 (空)	

入 浴

宇城市	宇城市役所
嘉島町	嘉島体育館
阿蘇市	一の宮中学校 阿蘇中学校
熊本市	保険福祉センター
益城市	益城総合体育館
菊陽町	光の森
大津町	大津町総合公園
西原村	西原中学校
南阿蘇村	長陽庁舎前
熊本市	西原中学校
大津町	石原中学校

箇所数	12箇所
19日合計	5,922人
累計	8,325人



※ポイント名称確認できず

箇所数	91箇所
19日合計	802 t
累計	1,992.2 t



生活支援の状況(熊本市周辺地区)

28. 4. 20 0000 省 衛 防

熊本市における生活支援

- 給水支援
 - ・ 西方後方支援隊(健軍駐屯地) 熊本駅:0U/16t
 - ・ 福島クリニック:0U/3t 朝日野総病院:0U/2t
 - ・ 西方通信群(健軍駐屯地) 熊本駅:0U/16t
 - ・ 第2高校:0U/4t 東町小学校:0U/4t 錦ヶ丘中学校:0U/2t
 - ・ 5地対艦連隊(健軍駐屯地):東町小学校:0U/6.2t
 - ・ 西方情報隊(健軍駐屯地):老人ホーム:0U/4t
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - ・ 熊本赤十字病院:0U/17t 熊本県立体育館:0U/2t 光の森公園:0U/8t
 - ・ 熊本市役所:0U/3t 福田病院:0U/5t 東病院:0U/2.5t
 - ・ 熊本泌尿器科:0U/10t 武蔵丘平山クリニック:0U/5t
 - ・ ながみねクリニック:0U/8t 熊大付属病院:0U/2t 鶴田病院:0U/1t
 - ・ 日赤病院:0U/1t グランメッセ:0U/2t 日隈病院:5U/5t
 - ・ 5空団(新田原基地) 武蔵丘平山クリニック:47U/51.5t
 - ・ 熊本泌尿器科:0U/4.5t
 - ・ ながみねクリニック:47U/67.5t 熊本赤十字病院:97U/97t
 - ・ 西響団(春日基地):あけほの第2クリニック:3t アヤノ第1クリニック:5t
 - ・ 2高群-3衛校(芦屋基地)
 - ・ 仁成会黒髪クリニック:5t 仁成会中央クリニック:4.5t 特別養護老人ホーム:10t
- 給食支援
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地) 東町中学校
 - ・ 東町小学校
 - ・ 第5地対艦連隊(健軍駐屯地) 東町小学校:おにぎり2880個/5141個
 - ・ 36普通科連隊 龍田小学校:1700食
 - ・ 龍田西小学校:1700食
 - 患者輸送(23人/166人)
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地) 23人/166人
 - 物資輸送
 - ・ 36普通科連隊、第3特科隊
 - ・ 熊本市:タンホール2513枚、水1495箱、弁当230個、毛布300枚
 - 入浴支援
 - ・ 3師団(千曾駐屯地)
 - ・ 西原中学校:588人



玉名市における生活支援
 ○ 給水支援
 ・ 3特:玉名市役所、横島公民館、尾田天満宮、北横内、丸尾 5.5U/5.5t

宇城市、宇土市、八代市における生活支援
 ○ 給水支援
 ・ 8師団(北熊本駐屯地) 宇城市役所、松橋小学校等:5t 日本赤十字病院:25t
 ・ 5地対艦連隊(健軍駐屯地) 東町小学校:3.3t 宇土市花園ニミゼン:11t
 ○ 給食支援
 ・ 8師団(北熊本駐屯地) 宇城市役所:600食
 ・ 5地対艦連隊(健軍駐屯地) 東町小学校:2261個(おにぎり)
 ○ 医療支援
 ・ 第8衛生隊(北熊本駐屯地) 宇城市役所:29人/160人
 ○ 入浴支援
 ・ 8師団(北熊本駐屯地) 宇城市役所
 ・ 4後方支援連隊 宇城市役所:200人
 ○ 物資輸送
 ・ 佐世保地方隊(佐世保基地) 宇城市:給食24576食、飲料水52260缶、毛布1180枚、缶飯10008食、缶詰31008食、割りばし、10000本
 ・ 宇土市:乾パン12960食、オレシジスブレッド12864食、缶飯288食、割りばし300本
 ・ 八代市:八代市役所-イレットペーパー

嘉島町における生活支援
 ○ 物資輸送
 ・ 佐世保地方隊(佐世保基地) トイレットペーパー-500ロール
 ○ 医療支援
 ・ 第8衛生隊/8師団(北熊本駐屯地) 嘉島中学校:67人/67人
 ○ 入浴支援
 ・ 4後方支援連隊 嘉島体育館:219人

給食支援のメニュー
 おにぎり、味噌汁等、暑めて温かいもの

赤字:更新箇所



生活支援の状況(熊本県東部地区)

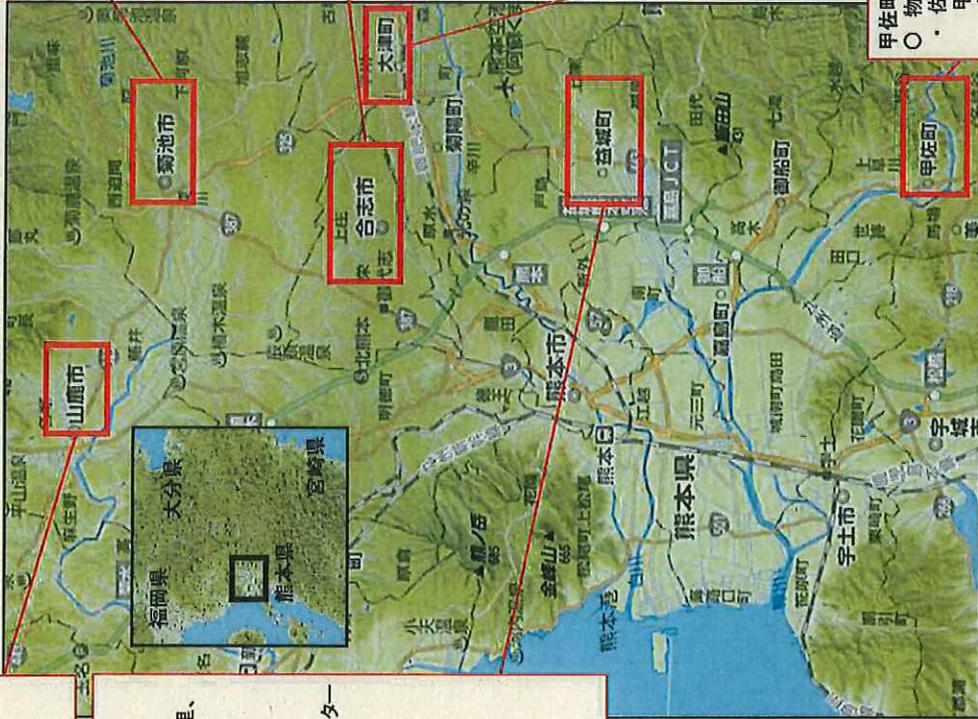
28. 4. 20 0000 省 衛 防

山鹿市における生活支援

- 物資輸送
 - ・ 36普通科連隊
 - 各避難所:タンポール320枚

益城町における生活支援

- 給水支援
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地):15,941/198.4t
 - 益城総合体育館、益城町役場、広安小学校、ひろやす荘、いこいの里、熊東園、保険福祉センター等 12箇所
 - ・ 西空・3衛科・8空団(福岡・芦屋・築城基地)
 - ・ 広安西小学校、中央小学校:94t/132.2t
- 給食支援
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地):177301食/201051食
 - 熊本総合体育館、広安小学校、アクアドーム、KKウイング、保険センター
 - ・ 西空・3衛科(福岡・芦屋基地)
 - ・ 広安西小学校、中央小学校:742食/4102食
 - ・ 4特科連隊、4後方支援連隊
 - 飯野小学校、総合体育館、ひろやす西小学校:8900食
- 医療支援
 - ・ 第8衛生隊(北熊本駐屯地)
 - 益城町保険福祉センター:36人/257人
- 入浴支援
 - ・ 8師団(北熊本駐屯地)
 - 益城保険福祉センター:0名/1302人



菊池市における生活支援

- 給水支援
 - ・ 3特科連隊、3後方支援連隊、36連隊:59t/74t
 - 戸崎・隈府・菊之池・追水小学校、旭志総合支所、中野クリニック
- がれき撤去
 - ・ 西空施設隊(春日基地)
 - 現地偵察
- 物資輸送
 - ・ 3特科連隊
 - 菊池体育館、菊池小学校:タンポール3107枚

合志市における生活支援

- 物資輸送
 - ・ 佐世保地方隊:マスク500個、おかず2976食
 - ・ 36普通科連隊:合志市役所、タンポール40枚
- 給水支援
 - ・ 36普通科連隊:合志南小学校 5t/5t

大津町、西原町における生活支援

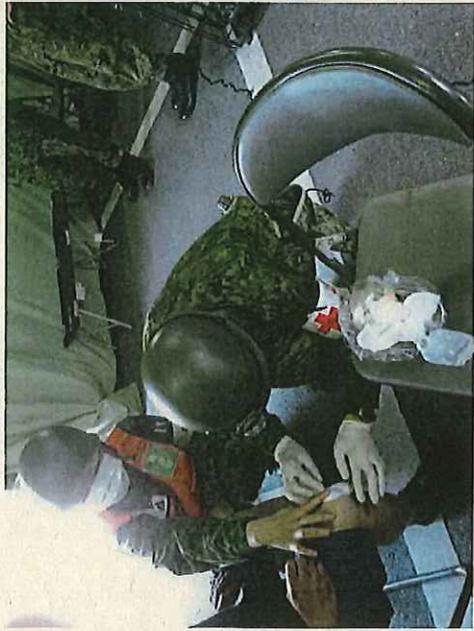
- 入浴支援
 - ・ 3師団(千僧駐屯地)
 - 大津町総合公園:688人/1762人
 - 石原中学校:12人/497人

甲佐町、美里町における生活支援

- 物資輸送
 - ・ 佐世保地方隊(佐世保基地)
 - 甲佐町役場:トイレレットペーパー1000、毛布50枚、水120本、おかず7824食 缶飯720食、缶詰720食
 - 美里町(美里中央庁舎、駐用中、湯ノ藪園):缶飯888食、缶詰:1056食、割りばし888本

給食支援のメニュー
おにぎり、味噌汁等、弱めて温かいもの

赤字:更新箇所



生活支援の状況(阿蘇地区)



阿蘇市、南阿蘇村における生活支援

- 給水支援
 - ・ 12旅団(相馬原駐屯地)
 - 阿蘇小学校、阿蘇西小学校、尾ヶ石東部小学校、阿蘇くんわの里、ヒラパークホテル、たちばな園、市民体育館:6.5t/6.5t
 - ・ 第8普通科連隊(米子駐屯地)
 - 阿蘇白川庁舎:1t
 - 白川体育館:1t
 - ・ 西方普通科連隊(相浦駐屯地)
 - 阿蘇西8箇所:0t/8.87t
 - 阿蘇西小学校:1.2t/3.2t
 - 内牧支所:0t/1t
 - げす:0.8t/0.8t
 - 乙姫:0t/1t
 - 弁当の平井:0t/1t
 - 下田代:0t/0.1t
 - 下田代:0t/0.1t
 - 湯浦:0.1t/0.5t
 - ・ 5施設団(小郡駐屯地)
 - 南阿蘇役場:0.6t/0.6t
 - 高森町役場:1.2t/1.3t
 - 高森町福祉センター:2.5t/3t
 - 長陽中学校:0.3t/0.37t
 - 九木野庁舎:0.1t/0.1t
 - ・ 第4後方支援連隊
 - 阿蘇中学校、阿蘇西小学校、内牧支処、中道公民館、老人ホームあそん里:5t/5t
- 給食支援
 - ・ 西方普通科連隊(相浦駐屯地)
 - 阿蘇市役所支所:2100食/7680食
 - 阿蘇西小学校:700食/700食
 - ・ 第8普通科連隊(米子駐屯地)
 - 13旅団(海田市駐屯地)
 - 立野小学校、東海大学、下野公民館、長陽中学校、久木野福祉センター、白水庁舎、西小学校:6000食/6000食
 - ・ 40普通科連隊(小倉駐屯地)
 - 一之宮小学校、阿蘇小学校、内牧支処:9550食
- 入浴支援
 - ・ 13旅団(海田市駐屯地)
 - 長陽庁舎(153人/153人)
 - ・ 対馬警備隊(対馬駐屯地)
 - 一之宮中学校:181人

阿蘇市、南阿蘇村における生活支援

- 給水支援
 - ・ 40連隊(小倉駐屯地)
 - 杖立多目的広場:1.1t/1.1t

阿蘇市、南阿蘇村における生活支援

- 物資輸送
 - ・ 13旅団(海田市駐屯地)
 - 久木野、白水、長陽地区:飲料水316箱、パン200箱、テント80張、レトルト200箱、トイレトベーパー250箱、簡易トイレ160箱、トイレ用剤200箱
 - ・ 西方普通科連隊(相浦駐屯地)
 - 阿蘇市:毛布2000枚
 - ・ 南方後方支援隊(健康駐屯地)
 - 南阿蘇庁舎:簡易トイレ1セット
 - 東海キャンパス:簡易トイレ1セット
 - アピカ多目的グラウンド:仮設トイレ150セット
 - 一宮小学校:蓄電池6箱
 - ・ 41普通科連隊(別府駐屯地)
 - 阿蘇農村公園アピカ:照明セット 15セット/15セット
 - ・ 佐世保地方隊(佐世保基地)
 - 阿蘇市:糧食6036食、飲料水3240缶、毛布475枚、ブルシート20枚
 - 南阿蘇村(白水公園):糧食2136食、飲料水720缶、毛布285枚、缶飯14496食、缶詰6310食、清涼飲料水12990本、水804本
 - ・ 春日へリコプター輸送隊(春日基地)
 - 阿蘇農村公園アピカ:水3888本
- 医療支援
 - ・ 第4衛生隊(福岡駐屯地)
 - 阿蘇農村公園アピカ:28人/28人

南阿蘇村における道路啓開

- ・ 5施設団(小郡駐屯地)
- 高野台:30m

山都町における生活支援

- 物資輸送
 - ・ 佐世保地方隊(佐世保基地)
 - トイレトベーパー300ロール
 - おかず2016食

給食支援のメニュー
おにぎり、味噌汁等、暑めて温かいもの

赤字:更新箇所



生活支援の状況(大分県地区)



大分市における生活支援

- 物資支援
 - ・ 佐世保地方隊(佐世保基地)
 - 米500食、飲料水240缶、毛布1440枚、ブルーシート448枚、おむつ356枚、テント32張、生理用品644個、ゴミ袋6720枚、トイレトイーパー1152本、ウエットティッシュ730個、携帯トイレ421個、懐中電灯72台、はさみ

由布市における生活支援

- 給水支援(13.57t/0.76t)
 - ・ 西方特科隊(湯布院駐屯地)
 - 湯布院町石武公民館:0.15t/1.15t
 - 日野病院:0t/10t
 - 温湯温泉:0t/5t
 - B&G:1.3t/14.5t
 - 並柳公民館:0t/2t
 - 湯布院病院:0t/10t
 - 湯布院小学校:1.61t/13.03t
 - 下佐公民館:0.4t/1.7t
 - トネリコの丘:1.26t/3.26t
 - 川西交流センター:0t/1t
 - 南布布駅:0.85t/0.85t
 - 白心荘:4.0t/4.0t
 - 庄内カントリーパーク駐車場:2.0t/2.0t
 - 庄内ほの湯駐車場:2.0t/2.0t

- 給食支援(1000食/6500食)
 - ・ 西方特科隊(湯布院駐屯地)
 - 湯布院小学校:1000食/6500食
- 天幕支援
 - ・ 西方特科隊(湯布院駐屯地)
 - 湯布院小学校:0張/10張
 - B&G:0張/5張
 - 石武公民館:0張/3張
 - 温湯温泉:0張/7張
- 物資支援
 - ・ 西方特科隊(湯布院駐屯地)
 - 湯布院小学校:0枚/700枚
 - B&G:0枚/200枚
- 物資支援
 - ・ 西方特科隊(湯布院駐屯地)
 - 湯布院小学校:ストープ2台/2台
- 物資支援
 - ・ 西方特科隊(湯布院駐屯地)
 - 日野病院:0個/累計2個

玖珠町における生活支援

- 給水支援(13.57t/0.76t)
 - ・ 4戦車大隊(玖珠駐屯地)
 - 日出生小野原、下泊里、日出生本村、生野地区、谷口地区:9t/9t

九重町における生活支援

- 給水支援(13.57t/0.76t)
 - ・ 4戦車大隊(玖珠駐屯地)
 - 豊後中村駅:5.28t/5.28t

日田市における生活支援

- 給水支援(13.57t/0.76t)
 - ・ 4戦車大隊(玖珠駐屯地)
 - 天ヶ瀬駅:1.6t/1.6t

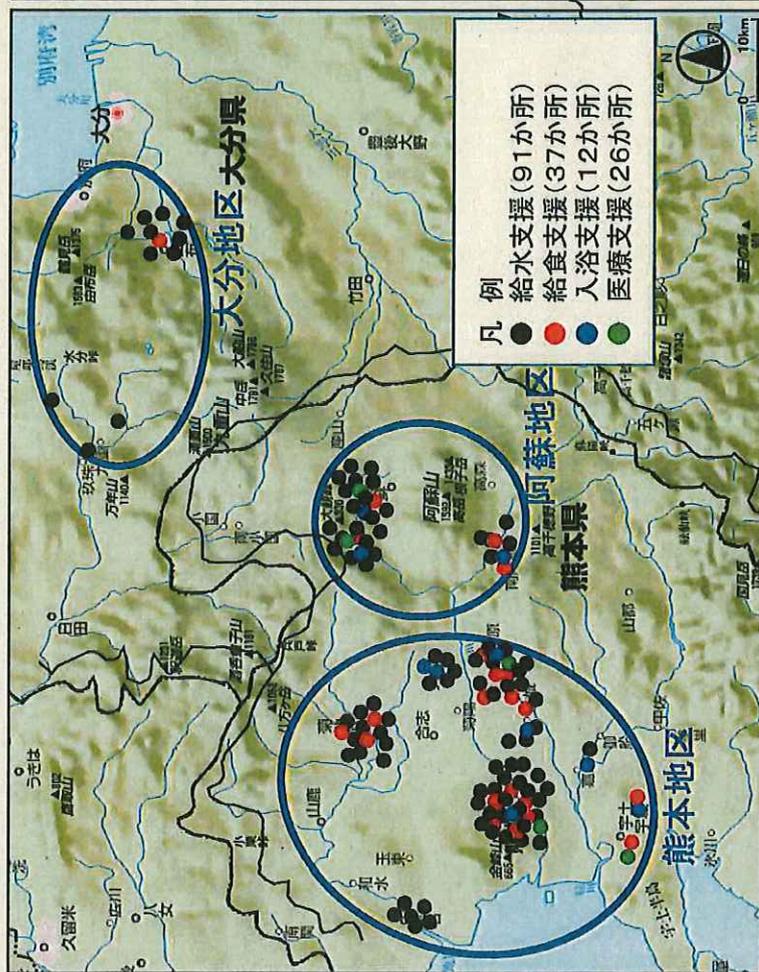
給食支援のメニュー
おにぎり、味噌汁等、努めて温かいもの

赤字:更新箇所

平成28年熊本地震における自衛隊の活動予定 (4月20日(水))

防衛省
28. 4. 20 1200

運用構想	被害が甚大な阿蘇地区を中心に、約2.2万人態勢(最大約2.6万人態勢)で組織的に災害派遣活動(人命救助、生活支援等)を実施。この際、関係省庁、各自治体等との密接な連携を保持する。
活動概要	人命救助 倒壊家屋、がけ崩れ地域(家屋を含むもの)における要救助者捜索を実施
	生活支援 ○ 給食・給水・入浴・医療支援、物資輸送及び瓦礫除去を実施 昨日から支援場所増加 給水:90→94か所、給食:19→22か所、入浴:7→10か所 ○ 物資輸送の円滑化措置を実施 空自小牧基地-陸自高遊原分屯地間の物資輸送、統合任務部隊として新編した輸送支援隊(車両約50両)による端末輸送支援等
	その他 ○ 昨日から生活支援調整チーム(JTF内)による避難所のニーズ把握と、きめ細かい生活支援の実施 米軍機による物資輸送支援を実施(MV-22オスプレイ、C-130)



地域等	部隊
阿蘇地区 (約1.2万人)	第4師団(福岡県福岡市)
	第6師団(山形県東根市)
	第12旅団(群馬県榛東村)
	第13旅団(広島県海田町)
	第5施設団(福岡県小郡市)
熊本地区 (約0.5万人)	第3師団(兵庫県伊丹市)
	第8師団(熊本県熊本市)
	第5地对艦ミサイル連隊(熊本県熊本市)
	西部方面衛生隊(熊本県熊本市)
大分地区 (約0.1万人)	西部方面特科隊(大分県湯布院町)
	第41普通科連隊(大分県別府市)
海災部隊	しもきた、おおすみ、ひゅうが、いずも 等
空災部隊	西部航空警戒管制団(福岡県春日市) 新田原救難隊(宮崎県新富町) 第1輸送航空隊(愛知県小牧市)

平成 28 年 4 月 20 日(水) 12:00 現在
総 務 省

平成 28 年熊本地震による被害状況等について (第 35 報)

I 被災自治体への職員派遣等の概要

職員派遣の状況

(1) 対応システム

①熊本県及び市町村(熊本市除く)への派遣

「九州・山口9県災害時応援協定」に基づき実施中

- ・熊本県庁内に九州知事会のリエゾンを派遣
- ・県庁において、県・市町村(熊本市を除く)の職員派遣要望のニーズを把握し、
リエゾンと調整
- ・当番県(大分県)がニーズを踏まえ、マッチング
- ・担当県を割り振り、対口支援

宇土市……長崎県、沖縄県

宇城市……鹿児島県

阿蘇市……宮崎県

西原村……佐賀県

南阿蘇村……大分県、全国知事会

御船町……山口県

嘉島町……静岡県、福島県、(全国知事会)

益城町……福岡県、関西広域連合

菊池市……(調整中)

菊陽町……(調整中)

南小国町……(調整中)

高森町……(調整中)

甲佐町……(調整中)

山都町……(調整中)

②熊本市への派遣

「21大都市災害時相互応援に関する協定」に基づき実施中

- ・熊本市役所内に指定都市市長会のリエゾンを派遣
- ・熊本市のニーズをリエゾンが把握・調整の上、指定都市市長会に伝達
- ・指定都市市長会で各指定都市と派遣について調整

(2) 今後の対応

○今後必要と見込まれるニーズ

- ・避難所の運営
- ・住宅の応急危険度判定 など

○全国知事会、全国市長会、指定都市市長会、全国町村会に対応依頼済み
→現在、各団体で調整中

4月19日17時現在の派遣状況は、以下のとおり。

派遣先	派遣元	本日派遣する人員数 (=現地で用務に従事する実人数)						延べ派遣人数 (人・日)	翌日 予定 (実人数)	
		被害 状況 把握	行政 窓口	避難 所運 営	物資 仕分 け	被災 者ケ ア	その 他			合計
熊本県	福岡県、佐賀県、大分県、鹿児島県、沖縄県	6人					6人	12人	32人・日	11人
熊本市	福岡市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、東京都			100人			20人 (水道)	120人	140人・日	404人
宇土市	長崎県	3人			20人			23人	23人・日	30人
宇城市	鹿児島県									4人
	鹿児島県内市町村									13人
	鹿児島県 計									17人
阿蘇市	宮崎県				19人			19人	19人・日	50人
	長崎県									30人
西原村	佐賀県				12人		2人	14人	16人・日	14人
南阿蘇村	大分県					15人	9人	24人	26人・日	26人
	大分県内市町村						10人	10人	10人・日	10人
	大分県 計						34人	34人	36人・日	36人
御船町	山口県				22人			22人	22人・日	23人
嘉島町	福島県									5人
	静岡県						3人	3人	13人・日	12人
益城町	福岡県	2人						2人	2人・日	28人
	関西広域連合						15人	15人	15人・日	15人
合計							264人	318人・日	675人	

※ これは速報であり、数値等は今後変わることがある。

※ これは広域応援スキームによるもので、各府省が調整して派遣する職員等は含まない。

Ⅱ 避難所及び行政機関の通信確保対応状況の概要

○総務省災害対策用移動通信機器の貸与

被災地域の通信確保を目的に、MCA無線機、簡易無線機及び衛星携帯電話を、これまで8自治体に計78台を貸出し（詳細は後述）。今後の貸出用として、九州総合通信局等で計123台を準備済。さらに追加配備用として、146台を搬送中。

○避難所において、携帯電話による通信は、概ね可能な状況。

○情報通信研究機構（NICT）

- ・4月18日20時過ぎ、熊本県阿蘇郡高森町にICTユニット（※1）（3台）及び車載衛星地球局（※2）（2台）を搬送。現在、高森町の役場・避難所にICTユニットを用いた無線LANサービス（衛星経由）を提供中。

※1 Wi-Fi、小型サーバー、バッテリーなどを搭載した小型で移動可能な通信設備であり、災害時に迅速に通信ネットワークを応急復旧させることが可能。

※2 超高速インターネット衛星（WINDS）を搭載した車両。移動電源車の役割も担える。

○NTT未来ねっと研究所

- ・4月18日20時過ぎ、熊本県阿蘇郡高森町にICTユニット（2台）をNICTと連携して搬送。現在、高森町の役場・避難所にICTユニットを用いた無線LANサービス及び音声通話サービス（衛星経由）を提供中。

○通信事業者が、

- ・特設公衆電話を合計34台
 - ・衛星携帯電話を合計623台
 - ・ポータブル衛星装置（固定電話）合計39台
 - ・無料公衆無線LAN（Wi-Fi）アクセスポイントを合計約205台
 - ・携帯電話充電器（マルチチャージャ）を合計約242台
- 等を避難所及び行政機関に配備（詳細は後述）。

○公衆電話の無料化を実施（熊本県全域、大分県全域）（4月16日19時50分以降）

Ⅲ 被害状況

1. 通信関係

<固定電話>

- ・NTT西日本 不通状態であった300回線が4/19(火)15:30時点で全て復旧。

※この他、電話局と住宅等の間で不通状態の回線あり(住宅等の復旧に合わせて回復見込み)。

<携帯電話>

- ・停波基地局数合計85局(4/20(水)3:00時点から7局減)。(全ての通信事業者において、全ての市町村役場をカバー)。

<PHS>

- ・停波基地局数合計48局(4/20(水)3:00時点から4局減)。

	事業者	被害状況等
固定電話 (注)	NTT 東日本	・被害なし
	NTT 西日本	・熊本エリア：交換機収容ビル1棟(約300回線)の収容回線が4/19(火)15:30に全て復旧 ・九州エリア：6交換機収容ビルで電源回復 ※停電・伝送路断等により各戸で利用できない回線あり
	NTT コミュニケーションズ	・被害なし
	KDDI	・被害なし
	ソフトバンク	・専用線：10回線 ADSL：936回線
携帯電話	NTTドコモ	・10局(熊本県：10局)が停波中のため、以下のエリアの一部で携帯電話が使用不可。 ※停波原因(停電：4局、伝送路断：6局) <熊本県>阿蘇郡南阿蘇村、阿蘇市 ※全ての市町村役場での通信の疎通を確認済。 ※避難所において、概ね通信の疎通を確認済。
	KDDI (au)	・14局(熊本県：14局)が停波中のため、以下のエリアの一部で携帯電話が使用不可。 ※停波原因(停電：4局、伝送路断：10局) <熊本県>阿蘇市、阿蘇郡南阿蘇村、阿蘇郡高森町、熊本市

	<p>※全ての市町村役場での通信の疎通を確認済。 ※避難所において、概ね通信の疎通を確認済。</p>
ソフトバンク	<p>【携帯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 61局（熊本県：60局、大分県：1局）が停波中のため、以下のエリアの一部で携帯電話が使用不可。 <p>※停波原因（停電：14局、伝送路断：47局）</p> <p><熊本県> 阿蘇市、阿蘇郡<small>あそぐん おぐにまち</small>小国町、阿蘇郡<small>あそぐん</small>南阿蘇村<small>みなみあそむら</small></p> <p><大分県> 玖珠郡<small>くすぐん</small>九重町<small>ここのえまち</small></p> <p>※避難所において、概ね通信の疎通を確認済。</p> <p>【PHS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 48局（熊本県：48局）が停波中のため、以下のエリアの一部でPHSが使用不可。 <p><熊本県> 阿蘇市、阿蘇郡<small>あそぐん おぐにまち</small>小国町、阿蘇郡<small>あそぐん</small>高森町<small>たかもりまち</small>、阿蘇郡南阿蘇村<small>あそぐん みなみあそむら</small></p> <p>※以下の役場での通信の疎通ができていないが、応急対応を検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阿蘇市役所、<small>あそぐん おぐにまち</small>小国町役場、<small>あそぐん たかもりまち</small>高森町役場、<small>あそぐん みなみあそむら</small>南阿蘇村役場<small>やくば</small> <p>※避難所での通信の疎通については調査中。</p>

(注) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載

<防災行政無線関係>

- 熊本県阿蘇市 一部地域で使用不可。
- 熊本県高森町 一部地域で停電のため使用不可。
- 熊本県南阿蘇村 停電のため使用不可。
- (※) 大分県内の市町村 被害情報なし。

<DEURAS (電波監視システム)>

以下のセンサ局が運用停止中であるが、他のセンサ局を活用して電波監視業務を実施中。

- ・ DEURAS-D (遠隔方位測定設備)
2 センサ局運用停止中。
- ・ DEURAS-H (短波方位測定設備)
阿蘇センサ局復旧。

2. 放送関係

<地上放送(テレビ)>

- ・ 熊本県：NHK大矢野湯島局(テレビ)
 - ・ 停電後、非常用電源の故障により停波。
→16日(土)13:19 発電機を持ち込んだため復旧。
16:09 商用電源が復旧
(停波時間は、9:26~13:19(3時間53分))

NHK南阿蘇局(テレビ、FM)

- ・ 停電後、非常用発電機の給電停止により停波。
→17日(日) 発電機の修理により復旧(停波時間は、
18:20~10:45(16時間25分))

NHK(AM) 被害報告なし

熊本放送(TBS系)蘇陽北局(AM)

- ・ アンテナ破損により停波。
→18日(月)15:45 アンテナの修理により復旧。(停
波時間は、16日(土)1:25~18日(月)15:45(62時
間20分))

- ・ 大分県：NHK、民放とも被害報告なし

<コミュニティ放送>

- ・ 熊本県：放送継続中(3社)
- ・ 大分県：放送継続中(3社)

<ケーブルテレビ>

- ・ 熊本県：放送中断中(1社)、復旧済(2社)、確認済(7社)
- ・ 大分県：復旧済(2社)
※17社については被害なし
- ・ 佐賀県：確認済(13社)
※13社については被害なし
- ・ 宮崎県：確認済(7社)

※7社については被害なし

<地上放送（テレビ、AM、FM）関係>

都道府県	事業者	被害状況等	最大被害数
熊本県	○NHK南阿蘇局（テレビ、FM）	○停電後、非常用発電機の故障により停波。 →17日（日）発電機の修理により復旧（停波時間は、18:20～10:45（16時間25分））	○6,372世帯 （一部は他の中継局（阿蘇局）の放送で視聴の可能性あり。）
	○NHK大矢野湯島局（テレビ総合・教育）	○停電後、非常用電源の給電停止により停波。 →16日（土）13:19発電機を持ち込んだため復旧。16:09商用電源が復旧（停波時間は、9:26～13:19（3時間53分））	○169世帯
	○NHK（AM）	○被害報告なし	○被害報告なし
	○熊本放送蘇陽北局（AM）	○アンテナ破損により停波。 →18日（月）15:45アンテナの修理により復旧。（停波時間は、16日（土）1:25～18日（月）15:45（62時間20分））	○約1万世帯
	○民放4社（テレビ）	○熊本局 16日（土）地震発生直後、停電のため放送中断したが、手動で発電機を起動し復	

		<p>旧。その後商用電源復旧。(停波時間 1:57~2:30 (33分))</p> <p>○砥用局 16日(土)停電後、非常用発電機が停止して停波したが、発電機を再起動・復旧。その後商用電源復旧。(停波時間 9:55~11:20 (1時間 25分))</p> <p>(19日(火)17時30分現在、県内6か所で停電のため非常用発電機により放送継続中)</p>	○県内8か所で非常用発電機を使用していた。
大分県	<p>○NHK(テレビ、AM、FM)</p> <p>○民放(テレビ3社(うち1社AM兼営)、FM1社)</p>	○NHK、民放とも被害報告なし	○被害報告なし

<コミュニティ放送関係>

都道府県	事業者	被害状況等	最大被害数
熊本県	○熊本シティエフエム →臨時災害放送局へ移行	○放送継続中(停電により短時間停波)	○停波1件
	○その他のコミュニティ放送(2社)	○被害報告なし	○被害報告なし
大分県	3社	○被害報告なし	○被害報告なし

<ケーブルテレビ>

1社 389世帯が視聴不可(19日(火)17:30時点(427世帯)から縮小)

都道府県	事業者	被害状況等	最大被害数
熊本県	○ジェイコム九州	○熊本局エリアの一部において <u>389</u> 世帯が視聴不可。 (注1) 原因は、「幹線」等に異常があるものなのか、「停電」によるものなのかは不明	○22,760 世帯 (14日(金)発生の地震による視聴不可世帯1,244件を含む)
	○たかもり光ネットワーク(株)	○一部商用電源復旧、発電機燃料到着により放送再開	○4,951 世帯
	○小国町	○19日(火)12時仮復旧	○68 世帯
	○その他のケーブルテレビ (7社)	○確認済(7社について設備被害なし)	○被害報告なし
大分県	○大分ケーブルテレコム	○16日(土)13時45分復旧	○9 世帯
	○日田市	○17日(日)17時復旧	○1,100 世帯
	○その他のケーブルテレビ (17社)	○確認済 (17社について被害なし)	○被害報告なし
宮崎県	7社	○確認済(7社について被害なし)	○被害報告なし
佐賀県	13社	○確認済(13社について被害なし)	○被害報告なし

3. 郵政関係

<郵便・郵便局業務関係>

- ・安全最優先で通常業務を実施。
- ・16の郵便局において、4/20(水)の窓口業務を見合わせ。
- ・停電等により、11の郵便局等において、業務用システムに障害。

(4/20(水)08:00 現在)

- ・阿蘇市、上益城郡及び阿蘇郡の一部地域において、避難先が不明な方宛ての郵便物等の配達が困難な状況。
- ・交通規制等により、熊本県を中心とした九州地方で引受・配達される郵便物等に遅れ。
- ・熊本県（上益城（かみましき）郡全域、阿蘇市全域、阿蘇郡全域を除く。）を宛先とするゆうパック（チルドを除く。）の引受けを4月19日（火）から再開。

IV 総務省の対応状況

- 4月14日（木）21時33分 総務省非常災害対策本部設置
- 4月14日（木）22時50分 九州総合通信局災害対策本部設置
- 4月15日（金）現地対策本部要員派遣（九州総合通信局1名）
（4月19日（火）から1名増員し2名派遣）

○総務省災害対策用移動通信機器の貸与状況

貸出先	機種	台数	貸出日	備考
熊本県御船町	MCA 無線機	2台	4月15日	
熊本県甲佐町	簡易無線機	10台	4月15日	
熊本県宇土市	MCA 無線機	21台	4月16日	
熊本県高森町	簡易無線機 衛星携帯電話	10台 2台	4月18日	
愛知県	衛星携帯電話	2台	4月18日	熊本県災害対策本部の支援のため、愛知県より職員を派遣するため
熊本県南阿蘇村	簡易無線機 衛星携帯電話	10台 3台	4月19日	
熊本県菊陽町	簡易無線機	15台	4月19日	
岩手県	衛星携帯電話	3台	4月20日	熊本地震被災地支援のため、岩手県医療チームを派遣するため

- 4月17日、NTT西日本、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、UQコミュニケーションズ、ワイヤレスシティプランニングに対して、被災者の通信需要に応えられるよう、特設公衆電話や無料公衆無線LANアクセスポイントの開設、携帯電話充電器（マルチチャージャ）の配備など、

避難所での通信利用環境の確保にも優先的に取り組むよう要請。

○4月18日、通信事業・無線関係団体（※）に対して、避難所の通信利用環境の確保について協力を要請。

※電気通信事業者協会、テレコムサービス協会、日本インターネットプロバイダー協会、移動無線センター、全国陸上無線協会

○移動電源車貸与（4台派遣済）

- ・熊本県益城町役場（九州総合通信局より1台）
- ・熊本県宇土市（中国総合通信局より1台）
- ・熊本県阿蘇郡南阿蘇村（東海総合通信局より1台）
- ・熊本県阿蘇郡高森町（近畿総合通信局より1台）

○4月15日、災害救助法の適用を受けた地域を告知先とする無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施。

○NTT西日本及び携帯電話事業者が通信電源用に使用する燃料について、資源エネルギー庁と連携し、安定供給を確保。

※：熊本県内の中核サービスステーション（自家発電設備や大型タンク等を備えた災害時に地域の石油製品の供給の拠点）からの調達。

○4月18日（月）、報道発表により被災地域における地域の避難情報や生活情報等を放送するコミュニティFM局を周知。

○4月18日（月）、熊本市からの臨時災害放送局の免許申請に対し、即時に免許。

○4月19日（火）、日本放送協会、（一社）日本民間放送連盟、（一社）日本ケーブルテレビ連盟及び（一社）日本コミュニティ放送協会に対して、災害情報、生活情報等の放送の確実な実施、被災地住民への十分な配慮等について要請を実施。

○4月19日（火）、NHKから、南阿蘇局（テレビ・FM）について、倒壊のおそれがある等の理由から、中継局の設置場所の変更等（可搬型送信機による代替送信所の設置）の申請があり、即時に許可。

○現地、熊本行政評価事務所などにおいて、被災者からの各種相談、問合せを受け付け。

○4月20日(水)正午から、熊本行政評価事務所において、災害専用フリーダイヤルを開設する予定。

○4月20日(水)、政府現地災害対策本部で編成された被災者生活支援リエゾンに1名派遣(派遣先:熊本県御船町^{みふねまち})

V 事業者等の対応状況

○ 避難所及び行政機関の通信確保対応状況(詳細)

事業者	特設公衆電話	衛星携帯電話	ポータブル衛星装置(固定電話)	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)	携帯電話充電器(マルチチャージャ)	移動電源車	可搬型発電機	携帯電話	タブレット	データ通信端末
NTT西日本	34台 (22箇所)	22台 (17箇所)	39台 (10箇所)	16台 (14箇所)	—	1台 <small>(移動系衛星基地局(充電が可能))</small>	—	—	—	—
NTTドコモ	—	151台 (13組織)	—	140台 (123箇所)	171台 (101箇所)	—	—	826台 (22組織)	74台 (5組織)	40台 (4組織)
KDDI	—	93台 (5組織)	—	約24台 (24箇所)	約42台 (42箇所)	12台	45台	626台 (3組織)	46台 (1組織)	8台 (1組織)
ソフトバンク	—	357台 (3組織)	—	約45台 (28箇所)	約23台 (23箇所)	9台	7台 (7箇所)	770台 (3組織)	—	—
NTT BP	—	—	—	約17台 (11箇所)	—	—	—	—	—	—
合計	34台	623台	39台	約242台	約236台	22台	52台	2221台	120台	48台

○災害用伝言サービスの状況

・NTT東西、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクが、災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板、災害用伝言板(web171)、災害用音声お届けサービスを展開済み。

○公衆無線LANサービスの無料提供

・主に携帯電話事業者が、通常、有料で提供している公衆無線LANサービスを九州全域で無料開放。「00000JAPAN」(ファイブゼロ・ジャパン)の名称で合計4万5千超のアクセスポイント(AP)が対象。

○復旧エリアマップをHP上に公開

- ・NTTドコモ、KDDIに加え、ソフトバンクも、災害の影響によりサービスを利用できないエリアを表示する復旧エリアマップを、HP上に公開済み。

○情報通信研究機構（NICT）

- ・4月18日20時過ぎ、熊本県阿蘇郡高森町にICTユニット（3台）及び車載衛星地球局※（2台）を搬送。現在、高森町の役場・避難所にICTユニットを用いた無線LANサービス（衛星経由）を提供中。
※超高速インターネット衛星（WINDS）を搭載した車両。移動電源車の役割も担える。

○NTT未来ねっと研究所

- ・4月18日20時過ぎ、熊本県阿蘇郡高森町にICTユニット（2台）をNICTと連携して搬送。現在、高森町の役場・避難所にICTユニットを用いた無線LANサービス及び音声通話サービス（衛星経由）を提供中。

○NTT西日本

- ・災害救助法適用地域内に居住する加入電話等利用者を対象に、避難により利用できなかった場合には、4ヶ月を限度に料金の減免を実施。
- ・仮住居への移転工事等が生じた場合の工事費は無料。

○NTTドコモ

- ・災害救助法適用地域内に居住する携帯電話利用者を対象に、追加データの購入なしに、自動的に通信速度制限を解除（～4/30）。

○KDDI

- ・災害救助法適用地域内に居住する固定電話等利用者を対象に、避難により利用できない期間の料金の減免を実施。
- ・災害救助法適用地域内に居住する携帯電話利用者を対象に、10GBのデータ通信容量を自動的に追加（4/19～）。

○ソフトバンク

- ・災害救助法適用地域内に居住する固定電話等利用者を対象に、避難により利用できない期間の料金の減免を実施。
- ・災害救助法適用地域内に居住する携帯電話利用者を対象に、追加データの購入なしに、自動的に通信速度制限を解除（～4/30）。

○九州通信ネットワーク

- ・災害救助法適用地域内に居住する光インターネット接続・光電話等

利用者を対象に、避難により利用できない期間の料金の減免を実施。

○NTT西日本、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクは、熊本県庁にリエゾン要員を派遣済。

○日本郵政グループ

- ・ 4月15日(金)から5月16日(月)まで、災害救助法が適用された地域を対象に、通帳・証書等や印章をなくした被災者の貯金等の非常取扱い、また、保険料の払込猶予期間の延伸、保険金の非常即時払等の非常取扱いを実施。
- ・ ゆうちょ銀行及び郵便局の貯金窓口において、4月18日(月)から6月30日(木)まで、災害に対する義援金の無料送金サービスを実施。
- ・ 4月19日(火)から6月30日(木)まで、救援等を行う団体に宛てた災害義援金を内容とする現金書留郵便物の料金免除を実施。

○NHK

- ・ 災害救助法による救助が行われた区域内において、半壊、半焼等の程度の被害を受けた建物に受信機を設置して締結されている放送受信契約につき、2ヶ月間の受信料免除
- ・ NHKラジオのネット同時配信「らじる★らじる」において、熊本県域放送(ラジオ第一放送)の同時配信も実施予定。
- ・ 避難所等にテレビを設置(熊本県益城町に3台、熊本市、御船町、大分県別府市に各1台それぞれ配布)。
- ・ ラジオ300台を準備し、既に益城町や南阿蘇村に約100台を配布。

○地上放送(民間放送事業者)

- ・ ニッポン放送(関東広域圏のAM事業者)、熊本放送
ラジオ500台を準備し、今後避難所等に配布する予定。

○衛星放送

・ (株)WOWOW

災害救助法が適用された地域にお住まいのお客様に対して、便宜を図るべく、専用フリーダイヤルを設置(申し出があった場合に、(4月下旬に引き落とし予定の)4月分の視聴料を免除)

・ スカパーJ S A T(株)

災害救助法が適用された地域にお住まいのお客様に対して、便宜を図るべく、専用フリーダイヤルを設置(申し出があった場合に、(4月下旬に引き落とし予定の)4月分の視聴料を免除)

○ケーブルテレビ

- ・株式会社 ジュピターテレコム

災害救助法が適用された地域にお住まいのお客様に対して、便宜を図るべく、専用フリーダイヤルを設置（視聴料の減免・支払期限の延長等）

○情報通信研究機構(NICT)による災害対応

(1) DISANA - 対災害 SNS 情報分析システム

- ・ 平常どおり情報提供中。熊本県益城町等の被害情報を提供中。

(2) 多言語音声翻訳アプリ “VoiceTra” (ボイストラ)

- ・ 平常どおりサービス提供中
- ・ 被災地に外国人観光客等がいる場合、翻訳機能が利用可能

(3) 航空機搭載合成開口レーダ (Pi-SAR 2) による観測

- ・ 4月17日(日) 午前8時過ぎから10時頃まで熊本県から大分県にかけての状況把握のための航空機 SAR (Pi-SAR2) 観測を実施。
- ・ 機上で処理した画像を内閣府(防災担当)、熊本県、大分県に提供済み。
- ・ 4月17日(日) 午後9時、NICT ウェブサイトにおいて詳細な画像データを一部公開。観測データの処理に合わせ、当該サイトを随時更新。

○地方公務員共済組合宿泊施設への被災者受入れの状況

- ・ 宿泊無料(食費実費負担)で受入れ実施中

(各施設の利用状況によっては受け入れられない場合もある)

- ・ 4月19日の利用状況

・ マリンパレスかごしま(鹿児島市): 5名

・ ひまわり荘(宮崎市): 6名

※4月17日からの累計延べ人数 25名

大臣官房総務課(調整)
電話 03-5253-5090
FAX 03-5253-5093

熊本地震における市町村機能の現状

自治体間の人的支援の状況

I. 職員派遣の状況

(1) 対応システム

①熊本県及び市町村（熊本市除く）への派遣

「九州・山口9県災害時応援協定」に基づき実施中。

- 熊本県庁内に九州知事会のリエゾンを派遣。
- 県庁において、県・市町村（熊本市を除く）の職員派遣要望のニーズを把握し、リエゾンと調整。
- 当番県（大分県）がニーズを踏まえ、マッチング。
- 担当県を割り振り、対口（たいこう）支援。

うとし
宇土市…… 長崎県、沖縄県

うきし
宇城市…… 鹿児島県

あそし
阿蘇市…… 宮崎県

にしはらむら
西原村…… 佐賀県

みなみあそむら
南阿蘇村… 大分県、全国知事会

みふねまち
御船町…… 山口県

かしままち
嘉島町…… 静岡県、福島県、（全国知事会）

ましきまち
益城町…… 福岡県、関西広域連合

きくちし きくようまち みなみおぐにまち たかもりまち こうさまち やまとちよう
菊池市、菊陽町、南小国町、高森町、甲佐町、山都町

・・・（調整中）

②熊本市への派遣

「21大都市災害時相互応援に関する協定」に基づき実施中

- 熊本市役所内に指定都市市長会のリエゾンを派遣。
- 熊本市のニーズをリエゾンが把握・調整の上、指定都市市長会に伝達。
- 指定都市市長会で各指定都市と派遣について調整。

(2) 今後の対応

○今後必要と見込まれるニーズ

- ・ 避難所の運営
- ・ 住宅の応急危険度判定 など

○全国知事会、全国市長会、指定都市市長会、全国町村会に
対応依頼済み。現在、各団体で調整中。

【地方団体間の人的支援の状況】

派遣先	派遣元	19日に被災自治体で活動した人員 (実人数)							20日に被災自治体で活動している人員 (実人数)
		被害状況把握	行政窓口	避難所運営	物資仕分け	被災者ケア	その他	合計	
熊本県	福岡県、佐賀県、大分県、鹿児島県、沖縄県	6人					6人	12人	11人
熊本市	福岡市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、東京都			100人			20人 (水道)	120人	404人
宇土市	長崎県	3人	20人					23人	30人
宇城市	鹿児島県								4人
	鹿児島県内市町村								13人
	鹿児島県 計								17人
尚森市	宮崎県				19人			19人	50人
	長崎県								30人
西原村	佐賀県			12人			2人	14人	14人
箭野村	大分県			15人			9人	24人	26人
	大分県内市町村			10人				10人	10人
	大分県 計			34人				34人	36人
御船町	山口県		22人					22人	23人
嘉島町	福島県								5人
	静岡県						3人	3人	12人
益城町	福岡県	2人						2人	28人
	関西広域連合			15人				15人	15人
合 計								264人	675人

※ これは速報であり、数値等は今後変わることがある。

※ これは広域応援スキームによるもので、各府省が調整して派遣する職員等は含まない。

II. 地方公務員共済組合宿泊施設への被災者受入れの状況

○宿泊無料（食費実費負担）で受入れ実施中
（各施設の利用状況によっては受け入れられない場合もある）

○4月19日現在の利用状況

- ・ マリンパレスかごしましかごしま（鹿児島市）：5名
- ・ ひまわり荘みやざきし（宮崎市）：6名

被災自治体庁舎の状況

熊本県内の次の市町村において、庁舎損壊のため庁舎外に機能を移転。

- ・ 八代市やつしろし→千丁支所せんちようへ
 - ・ 宇土市うとし→市民体育館へ
 - ・ 大津町おおづまち→近隣町施設へ
 - ・ 益城町ましきまち→保健福祉センターへ
- ※ 熊本県庁市町村課が4/20(水)午前に確認

被災自治体の住基情報等

<既存住基>

- ・ 熊本県内の全市町村の既存住基システムのデータは維持
(H28.4.19 県庁に確認)
- ・ 熊本地震に伴う被災地域（災害救助法の適用地域である熊本県内の全市町村）の住民が、転出証明書を持たずに他市区町村で転入届をしても受理できる旨の通知を4月19日付けで全国に発出。

<住民基本台帳ネットワークシステム>H28.4.20 午前現在

- ・ 疎通不可 2団体 熊本県南阿蘇村みなみあそむら（停電）、益城町ましきまち（停電）

<LGWAN>H28.4.20 午前現在

- ・ 疎通不可 1団体 熊本県益城町ましきまち（ケーブル破損か）

熊本県を震源とする地震の被害・対応状況について（第17報）

（4月20日（水）14:00時点）

平成28年4月20日
経済産業省

経済産業省関連の被害状況は、現時点で把握している限りでは以下のとおりとなります。

【電気】

●九州電力管内

- ・停電：あり
- －停電戸数：熊本県約3,400戸（20日（水）14:00時点）（阿蘇市及び南阿蘇村を除いては、復旧を完了。）【19日15時 約11,800戸】
- －復旧見込み：本日（20日）中の停電解消を目指して作業中。

・電源車の手配：電気事業連合会、電力広域的運営推進機関に対して、電源車等を応援派遣するよう要請。これによる全国の電力会社からの応援出動を含めて、162台を熊本県に集中配置。

・停電中の重要設備（役場、避難所、病院、福祉施設等）の有無：

- －病院：停電中の地域を特定し、病院の自家発用の燃料（軽油）を優先的に供給するよう、経済産業省から石油連盟、全石連に対して要請。燃料枯渇の危険があった熊本県内の2病院に配送済み。
- －役場：発電用燃料で自家発を活用していた8自治体のうち、通電（5自治体）又は電源車の配備（3自治体）により全てに電力を供給済み。
- －避難所：電源車が必要とされている23箇所全ての避難所に電源車を派遣し、通電済み。
- －福祉施設：熊本県内の社会福祉施設については、発電用燃料を供給すべき2施設に、優先的に供給するよう、経済産業省から石油連盟や全石連に対して要請し、既に配送済み。

<経済産業省の対応>

- ・4月18日、九州電力から、熊本県全市町村及び隣接市町村における規制の小売料金及び託送料金についての特別措置（料金の支払期日の延長、電気料金の免除等）に関する認可申請を受け、同日、認可。

【ガス】

●西部ガス管内

- ・供給停止：あり（熊本市周辺）
- －停止戸数：105,000戸（20日（水）12:00時点）
- －停止中の重要設備（役場、避難所、病院、福祉施設等）の有無：2病院、4福祉施設について、停止中。現在、ニーズに応じて、移動式ガス発生設備を手配できるよう準備中。
- －復旧見込み：20日（水）中に供給停止戸数は98,300戸まで減少予定であり、今後順次再開予定。22日（金）までに復旧計画を策定予定。

一復旧状況 : 復旧作業は①閉栓、②導管安全確認・修繕、③開栓となる。

①閉栓 : 19日に終了(不在需要家など一部を除く。)

②導管安全確認・修繕 : 中圧導管の安全確認を18日に終了。

③開栓 : 中圧導管から直接供給している役所、体育館、医療関係施設など41施設(済生会熊本病院、熊本森都病院、武蔵丘病院、国立熊本医療センター、日赤病院熊本、地域医療センター、熊本大学病院など)は供給再開済み。

※移動式ガス発生設備による臨時供給

17日、日本ガス協会に対して応援派遣を含め、移動式ガス発生設備を活用するよう要請。20日現在、医療施設3ヶ所(成尾病院、熊本機能病院、日赤病院熊本)に臨時供給中。

・設備被害状況 : あり

一ガス製造設備 : 被害なし

一ガスホルダー : 一部外部損傷があるが、機能に支障なし

一中圧導管 : 18日に点検終了

一その他 : 西部ガス熊本支社で被害あり(窓ガラス割れ、通信設備喪失等)
従業員は待避済み

・ガス会社等からの現地派遣 :

日本ガス協会、ガス会社各社より、現地に計12名の職員を派遣。

復旧要員としては、大手ガス会社を中心に、1,800人を超える復旧応援隊を順次派遣予定。

17日朝から、派遣開始済み(19日までに約1,000人現地入り、さらに20日に約500人現地入り予定)。

※熊本県内で供給している、西部ガスを除く4事業者(九州ガス、山鹿都市ガス、天草ガス、大牟田ガス)については、供給支障は発生していない。

<経済産業省の対応>

・4月18日、西部ガスから、熊本県内の供給区域(熊本市等)における小売料金についての特別措置(料金の支払期日の延長、ガス料金の免除等)に関する認可申請を受け、同日、認可。

●簡易ガス(九州全域)

- ・熊本県内全101団地のうち、5団地で供給停止。【17日時点では14団地】
- ・他県は被害情報無し。

●LPガス(九州全域)

(九州全域 : 2500事業者(うち熊本県434、大分県245))

- ・LPガス輸入基地 : 異常なし
- ・LPガス充填所 : 熊本県内にある41箇所の充填所については、全て営業していることを確認済み。
- ・LPガス国家備蓄基地 : 異常なし
- ・LPガス一般消費者 : 漏えい火災等の被害情報なし
(※なお、一般的に各家庭に軒下在庫一か月程度あり)
- ・LPガス販売事業者 : 熊本県内(434社)のうち4販売所(事務所等)が損壊

【石油】

●被災地の石油需要への対応

(全般)

- ・燃料の応援要請への対応については、4/16 7時43分に石油備蓄法に基づく「災害時石油供給連携計画」を発動し、石油連盟において、共同供給オペレーションルームを運用中。
- ・19日、熊本県内の営業中のガソリンスタンドを資源エネルギー庁及び石油連盟のホームページで公表。
- ・元売各社は熊本県内の全ての発注に対して引き続き配送を実施。熊本市内は、通常よりも来店が多少多い程度。他の地域も含め、県内のガソリン供給問題はほぼ解消。

(局地的対応)

- ・益城町
 - 町内12ヶ所のSSのうち、6ヶ所が営業中。品薄状態はほぼ解消。
- ・南阿蘇村
 - 村内11ヶ所のSSのうち、6ヶ所が営業中。隣接する高森町の6SSのうち、5ヶ所が営業中。品薄状態はほぼ解消。
- ・電源車への燃料供給
 - 九州電力、石油連盟、全石連が連携して対応中。特に電源車が集中する阿蘇地区については、九州電力が逐次配置する電源車に、拠点となるSSから燃料(軽油)をピストン輸送する体制を確立。

●SS関係

一熊本県

- ・全SS(計797) : 現時点で9割超(727ヶ所)の稼働を確認
【20日6:00時点 726ヶ所】
- ・うち中核SS(34) : 全て稼働を確認

※「中核SS」とは、自治体・自衛隊等緊急車両用優先給油を行うSS

- ・内閣府災害対策本部から経済産業省に対して、道路寸断等の情勢を踏まえ、緊急車両に対する中核SSによる優先・継続供給について要請あり。経済産業省から石油連盟に対して要請済み。
- ・今後、孤立地域などの支援に必要な緊急車両による燃料供給のロジスティックスについて、万全を期すよう、石油連盟に要請済み。

●石油コンビナート(製油所・油槽所)

- ・通常稼働中

【小売】

●コンビニエンスストア

(1) 熊本県内の状況

(※4/20 12:00時点、カッコ内は前日の数値)

	合計	営業中	休止中
セブンイレブン	289	288 (287)	1 (2)
ローソン	141	134 (133)	7 (8)
ファミリーマート	163	150 (136)	13 (27)
合計	593	572 (556)	21 (37)
営業店舗の比率		96.5% (93.8%)	※16日17時時点 74.9%

(2) 営業再開・商品確保の状況

- 3社社長に対し、直接、①営業の早期再開、②駐車場等を活用した柔軟な販売の実施、③現地店舗への十分な量の配送の確保を要請(4/16から連日)。

〈総論〉

- 4/20(12時現在)は、96.5%の店舗が営業(4/19(6時時点)は93.8%)。
- 4/17・18は、熊本県内で約70万食を供給。4/19は、それを1割程度上回る供給。4/20は、4/19を更に上回る供給を予定。
- 九州自動車道植木IC～益城熊本空港IC間において、コンビニの搬送車を含め、緊急物資輸送のための車両の通行が可能に。
- 特に、大通りに面していない店舗では、夕方以降、商品量が比較的多かったとの指摘あり。

〈セブンイレブン〉

- 4/19の発注量は、通常の3倍程度で、当初予定された商品は納品された。4/18を若干上回る水準。4/20は、4/19を若干上回る発注を予定。
- 4/19から、熊本県内の惣菜工場の4つのうち2つが、操業を再開。また、隣県の工場をフル稼働し、熊本県に搬送予定。
- 九州自動車道で、コンビニの搬送車を含め、緊急物資輸送車両が通行可能になったことにより、4/19夕方頃から、輸送時間が2時間程度短縮された。
- 本社から、200人を派遣中。

〈ローソン〉

- 4/19の発注量は、通常の2倍程度。商品は、概ね当初の予定どおり納品された。4/20は、それを上回る発注量を予定。ドライバー不足等の制約はあるが、可能な限り対応予定。
- 山口及び東京圏からの商品の空輸について、4/20にも開始する方向で検討。
- 本社からの派遣を、80人から130人に増強。社長も現地入り(4/17)。

<ファミリーマート>

- ・4/20の発注量は、4/19を上回る予定。仕入元の生産能力の範囲内で、できるだけ多くの調達を行う予定。
- ・九州自動車道で、コンビニの搬送車を含め、緊急物資輸送車両が通行可能になったことにより、4/19夕方頃から、輸送時間が短縮された。当初予定された商品は、概ね納品された。
- ・霧島に独自の水源があり、4/19から、自社の天然水商品を集中的に熊本県に投入中。

●スーパーマーケット

(1) 熊本県内の状況 (主要各社) (※4/20 12:30時点、カッコ内は前日の数値)

	合計	営業中	休止中
イオン	27	24 (23)	3 (4)
イズミ	7	4 (4)	3 (3)
サンリブ	20	15 (15)	5 (5)
西友	3	2 (1)	1 (2)
合計	57	45 (43)	12 (14)
営業店舗の比率	78.9%	(75.4%)	※16日17時時点 38.6%

(2) 営業再開・商品確保の状況

主要各社に対し、コンビニ各社と同様、①営業の早期再開、②駐車場等を活用した柔軟な販売の実施、③現地店舗への十分な商品量の配送の確保を要請(4/16以後随時)。

- ・4/20(12時現在)は、駐車場を活用した販売を含め、78.9%の店舗が営業(4/19(6時時点)は75.4%)。
- ・商品量については、例えば、イオンは、九州南北にある2大物流センター等を活用して、九州外からも飲食料品を調達。必要な商品量の確保に努力。

【参考】

●食品の取扱いの多い小売店

熊本県内の状況 (主要各社) (※4/20 12:00時点、カッコ内は前日の数値)

	合計	営業中	休止中
コスモス薬品	86	70 (68)	16 (18)
ドラッグイレブン	12	8 (2)	4 (10)
サンドラッグ	8	6 (-)	2 (-)
ダイレックス	27	21 (-)	6 (-)
トライアル	6	5 (-)	1 (-)
ミスターマックス	4	4 (-)	0 (-)
合計	143	114 (-)	29 (-)
営業店舗の比率	79.7%	(-)	

【物資の調達状況】

※4/20 (水) 12:00 時点

●プル型（現地からの要請を受け物資支援を行う）

受信日	要請元	物資	数量	状況
4/16	熊本県	簡易マット	2,000	到着済 (16日 200、18日 1,800)
4/16	熊本県	トイレトーパー	20,000	到着済 (16日)
4/16	熊本県	便袋 (凝固剤含む)	20,000	到着済 (17日)
4/16	熊本県	Tシャツ	1,000	到着済 (17日)
4/16	熊本県	ビニールシート	300	到着済 (17日 100、19日 200)
4/16	熊本県	紙コップ	6,400	到着済 (17日)

●プッシュ型（現地からの要請を待たずに物資支援を行う）

受信日	要請元	物資	数量	状況
4/16	政府本部	トイレトーパー	21,000	到着済 (18日)
4/16	政府本部	便袋 (凝固剤含む)	170,000	到着済 (18日)
4/16	政府本部	簡易トイレ	4,000	到着済 (18日 1,289、消防庁が 2,750 対応)
4/18	政府本部	ビニールシート	3,000	(19日に 2,100 到着、21日午前に残り 900 到着予定)
4/18	政府本部	簡易トイレ 凝固剤 テント	3,800 7,700 500	(20日に発送予定 (トイレ、凝固剤は茨城発、テントは大阪発))
4/18	政府本部	簡易トイレ 消耗品類 他	50 200 セット	(20日に発送予定 (花巻、埼玉発))
4/18	政府本部	簡易マット	1,150	(19日に 200 到着、20日に 200 到着予定、残り 750 発送予定)
4/19	政府本部	ウェットティッシュ	102,240 パック	(21日に全て発送予定 (うち 22日は 92,400 到着予定、23日は 9,840 到着予定))
4/19	政府本部	ボディシート	10,000	(20日に発送予定、21日に到着予定)
4/19	政府本部	水無シャンプー	10,000	(20日に 3,600 発送予定、21日に到着予定。残り 6,400 は順次発送予定)

4/19	政府本部	歯磨きシート	2,300	手配中
4/19	政府本部	液体歯磨・洗口液	720	手配中
4/19	政府本部	下着	200,492	(19日に84,800発送済、115,692は20日に発送予定)
4/19	政府本部	化粧水	確認中	手配中
4/19	政府本部	ガスコンロ	1,000	到着済(19日)
4/19	政府本部	ガスボンベ	2,000	到着済(19日)
4/19	政府本部	カーペット及び タイルカーペット	1,000 1,000セット	手配中
4/20	政府本部	仮設トイレ	300基	手配中

合計：延べ24件（うち、11件は全数量到着済）

【サプライチェーン（自動車）】

<トヨタ自動車>

- トヨタ自動車九州（福岡県宮若市等／完成車及び部品工場）は、地震の影響を受け、4/15（土）及び4/16（日）の稼働を停止。
- 4/17（日）、トヨタ自動車は、トヨタ自動車九州のみならず、4/18（月）から段階的に国内の完成車組立てラインの過半の稼働を停止することを発表。
- 4/20（水）、トヨタ自動車は、一部の工場を除き、4/25（月）以降段階的に稼働する旨発表。
- 5/6（金）以降の稼働については4/27（水）に判断予定。
- 生産台数への影響はトヨタ社内で精査中。

<ダイハツ工業>

- ダイハツ九州中津工場（完成車）及び久留米工場（エンジン）は、4/16（土）に地震により稼働を停止。
- その後の確認により、工場自体には地震の影響は無かったものの、サプライヤーからの部品の供給状況を踏まえ、4/18（月）から4/22（金）まで稼働停止を決定（4/17）。
- 4/25（月）以降の稼働再開は、4/20（水）に判断する予定。

<日産自動車>

- 日産自動車九州（福岡県苅田町（かんだまち）／完成車工場）は、4/16（土）に地震により稼働を停止。
- その後工場は復旧し、4/18（月）から稼働再開を決定（4/17）。

<本田技研工業>

- 本田技研工業熊本製作所（熊本県大津町（おおづまち）／二輪車完成車工場）は、4/14（木）夜から地震により稼働を停止。
- 設備の破損状況の確認に時間を要することなどを踏まえ、4/18（月）から4/22（金）までの間、稼働停止を決定。23日（土）以降の生産体制については、今後の状況をみて判断する（4/17）。

<三菱自動車>

- 三菱自動車水島製作所（岡山県倉敷市／完成車工場）は、4/18（月）夜間から4/22（金）まで稼働を停止。土日ははさみ、25日（月）以降の稼働については、21日（木）以降に判断の予定。部品供給の影響により、生産再開の目途がたっていないため。

<アイシン九州>

- 自動車のドア部品やエンジン部品を製造するアイシン九州（熊本市）は、地震により4/15（金）より稼働を停止。
- 現在も余震が続いており、工場建屋内の被災状況が完全に確認しきれていない状況。また、仕入先のうち2社について再開の目処が立っていない。
- こうした状況のため、現時点では供給再開の目処が立っていない。特に一部のドア部品について国内シェア第1位であり、完成車工場の稼働停止への影響が大きい。

<ルネサス セミコンダクタ マニュファクチュアリング>

- 車載用半導体を製造する川尻工場（熊本市南区）が15日（金）から稼働停止。22日（金）から一部工程において生産再開。

【中小企業等】

○平成28年熊本県熊本地方の地震に係る災害に関して熊本県内全域に災害救助法が適用されたことを踏まえ、被災中小企業・小規模事業者対策として、特別相談窓口の設置、災害復旧貸付の実施、セーフティネット保証4号（中小企業信用保険法第2条第5項第4号）の実施の決定、既往債務の返済条件緩和等の対応、小規模企業共済災害時貸付の適用の措置を講じた。また、窓口における親身な対応や資金の円滑な融通等を要請する通知文書を、中小企業庁及び財務省の連名で、日本政策金融公庫及び商工組合中央金庫に対して、中小企業庁名で全国信用保証協会連合会に対して発出。（4月15日）

○大分県の日本政策金融公庫の支店、商工中金の支店、大分県信用保証協会、大分県の各商工会議所、大分県商工会連合会、大分県中小企業団体中央会の相談窓口体制を整備。商店街については、全国商店街振興組合連合会に整備。（4月18日）

○下請法上の留意点（Q&A）について、製造局等において所管団体へ周知を実施（4月15日）

○下請取引対策として、全国48か所の「下請かけこみ寺」に「特別相談窓口」を設置（4月18日）。

取扱注意

- 中小企業・小規模事業者の状況を直接配布し、その対応策を政府一丸となって進めるため、林経済産業大臣を本部長、鈴木経済産業副大臣を副本部長とする「総合中小企業対策本部」を設置し、中小企業庁次長及び担当課長他2名を現地に向けて派遣した。(4月18日)
- 19日(火)、熊本県庁に訪問した後、健軍商店街、熊本総合鉄工団地、熊本商工会議所、熊本県商店街振興組合連合会、商工中金熊本支店を視察した。20日(水)は熊本県よろず支援拠点、託麻商工会、日本政策金融公庫熊本支店、熊本県信用保証協会、熊本商工会記念会館等を視察予定。
- 視察と同時に、被災地域で利用可能な中小企業者向けの支援策をまとめたハンドブックを現地で配布。今後随時改訂予定。(4月19日～)
- 特許庁は、地震の影響に伴う特許出願等に係る救済手続等をHPで周知するとともに、専用の「手続電話相談窓口」(TEL03-3581-1101)を開設。(独)INPITは、被災した熊本県の知財総合支援窓口(※)のサービス業務の一部停止と、電話による代替の「臨時知財総合支援窓口」(TEL03-3581-3446)の開設等を実施(4月18日)。
※受託先は熊本県工業連合会で、施設は熊本県産業技術センターに入居。
- 輸出入に係る許可書等を紛失した者や、当該許可書等の有効期限延長手続きを行えない者に対し、交付手続きの弾力的運用(許可書の再発行等)を行う。(4月20日午後)に当省貿易管理HPで通知予定)
※現時点では、許可書等の紛失についての連絡・相談は寄せられていない。

【その他】

- 防災連絡会議を設置(4月14日)
- 防災連絡会議を開催(4月15日)
- 緊急災害対策本部を設置(4月16日)
- 緊急災害対策本部会議(第1回)開催(4月16日6:00)
- 緊急災害対策本部会議(第2回)開催(4月16日10:30)
- 緊急災害対策本部会議(第3回)開催(4月16日17:30)
- 熊本県への派遣：経済産業省(本省及び九州経済産業局)から熊本県へ39名を派遣(4月20日 12:30)

【連絡先】

経済産業省大臣官房総務課
藤井、下堀、加賀、平野、飯沼、高橋、上田
電話 03-3501-1327
FAX 03-3501-1704

平成28年熊本地震についての国土交通省の対応状況

国土交通省の主な対応状況

(1) 住環境

■二次的避難場所の確保

- ・全旅連等に九州全域の旅館・ホテルへの被災者の受け入れを要請（熊本県で1,500人程度）。全旅連は、他県の宿泊施設についても、熊本県からの要請があり次第、受け入れる用意あり。
- ・熊本県及び全旅連熊本県支部において、高齢者や体調の悪い方を中心に具体的なマッチングを急ぎ実施中。
- ・ホテルシップについては熊本県を含め関係者と引き続き調整中。

■応急的な住まいの確保等

- ・熊本県において、15日から実施中の被災建築物の応急危険度判定を、判定士を増員して促進。大分県においては、住宅の安全性確認に関する相談窓口を設置済。（本日以降、近畿、中国、四国地方の行政職員を約70名増員）
- ・九州だけでなく全国の都道府県等に対し、公営住宅等の空き住戸の状況報告と被災者の入居に協力するよう要請。※九州では福岡県、福岡市、北九州市、宮崎県（県及び県内市町村）、鹿児島県で申込手続を開始（19日現在）
- ・不動産団体や（一社）プレハブ建築協会に対し必要な協力を要請。

■飲料水等の確保

- ・海洋環境整備船等8隻、巡視船6隻および民間事業者のフェリーにより、三角港、熊本港、八代港等にて給水（飲料水）
- ・独立行政法人水資源機構が保有する可搬式浄化装置（日量50m³：約16,000人分の飲料水を供給可能）を熊本県西原村の要請を受け派遣（4/18）
- ・巡視船6隻により食料支援、入浴・トイレ提供、携帯電話の充電等、海上保安庁航空機等により、生活物資を南阿蘇村、高森町、宇土市等へ搬送
- ・下水処理場は機能を確保。下水管は全国各都市の応援を得て調査点検中
仮設トイレのし尿は一部処理場で受入中

(2) 物流

○幹線物流

- ・大手物流事業者の参画の下に、プッシュ型の支援物資を搬入する体制（トラックのほか、鉄道、内航海運）を確保。（JR貨物は4/19より臨時便で輸送開始）

○フィーダー物流

- ・食料とその他の支援物資に分けて、自衛隊と民間事業者が役割分担。
- ・食料については、自衛隊やトラック事業者が日本通運（鳥栖）から南阿蘇村等の市町村へ輸送。飲料水その他の品目については、自衛隊や物流事業者がヤマト運輸（福岡久山等）から、被災地の市町村まで輸送

○人的支援

- ・物流事業者の専門家を非常災害対策本部、熊本県庁等に派遣

○その他

- ・全日本トラック協会が16件、熊本県が68件の支援を実施

(3) 交通

■道路

○物資輸送・渋滞対策

- ・九州道植木（うえき）IC～益城熊本空港（ましきくまもとくこう）IC間について、昨日より物資輸送車両等が通行可能
- ・国道443号の応急復旧が完了し、本日12時より走行可能。九州道から益城町中心部等への支援物資の円滑な輸送や渋滞緩和に寄与
- ・広域的な対策調整の場（整備局、県、市、警察等）を設置し、以下の対策を実施中

※利用ICの転換による熊本市内への流入分散

※国道3号から他の道路への迂回誘導

※渋滞箇所における仮設トイレ等の設置

○復旧状況

【高速自動車道】（7路線599km → 3路線・85km）※復旧工事着手済

九州自動車道 植木（うえき）IC～八代（やつしろ）IC

※緑川（みどりかわ）PA付近 落橋した跨道橋撤去済・路面復旧中

※益城（ましき）バスストップ付近 土留め鋼材を打設中・その後崩落した盛土を復旧

※木山川（きやまがわ）渡河部 橋桁ずれ 橋梁を支えるベント設備を設置中

大分自動車道 湯布院(ゆふいん)IC～別府(べっふ)IC等

※由布岳(ゆふだけ)PA付近 土砂撤去中(4車線中2車線ほぼ完了)

九州中央自動車道 嘉島(かしま)JCT～小池高山(おいけたかやま)IC

【国道・県道・市町村道】(大規模被災箇所)

阿蘇大橋地区斜面崩壊(国道57号・国道325号)

※専門家の意見を聴きながら、土砂撤去用進入路の確保等のため、現地作業中

俵山トンネル(2km) 熊本県西原村 県熊本高森線(覆工コンクリート崩落)

※県の要請を受け、専門家を派遣、迂回路の啓開作業中

■鉄道関係

○新たな開通状況(19日15時以降)

- ・九州新幹線 新水俣～鹿児島中央が、20日始発より開通
- ・熊本市交通局 健軍(けんぐん)線が、20日始発より全線運転再開
これにより熊本市交通局は全線で運転開始

○運転休止

- ・新幹線 九州新幹線 運休区間：博多駅～新水俣駅
※熊本駅～熊本車両基地間(本線上)回送列車1本 全車脱線 車両の撤去作業を実施中
※新大牟田～新水俣間の施設の点検を実施中
- ・在来線 3事業者6路線(運転休止)
 - ・JR九州 4路線
 - ・熊本電気鉄道 一部(1路線)
 - ・南阿蘇鉄道 全線(1路線)

■空港関係

- ・熊本空港：24時間運用し救援業務に対応中(24日まで)で、自衛隊、JAL貨物臨時便、米軍機(オスプレイ他)等利用。
20日の旅客便は、通常の約7割にあたる50便を運航予定(19日25便)
- ・九州の他の空港：通常どおり運用中(大分空港において早朝の運用に対応中)
福岡～鹿児島間等に臨時便を運航

■バス

- ・熊本空港アクセスバスは通常運行。九州高速バス、熊本市内の主要路線バスは概ね運行再開。

(4) 土砂災害

- 重点箇所(阿蘇大橋地区、火の鳥温泉地区、高野台地区、立野川、山王谷川)
 - 阿蘇大橋：専門家の助言を踏まえ、崩壊斜面对策に向けて県と調整
 - 山王谷川他：河道内埋塞土砂撤去等、応急工事の技術的支援
- 震度6強以上を記録した市町村を中心に、緊急度の高い危険箇所約1100箇所に対し、テックフォース(土砂災害現地調査チーム)により点検し、県及び市町村へ情報提供、助言(実施中)
- 土砂災害による二次災害防止への注意喚起
 - ①土砂災害警戒情報等の適切な提供 ②ツイッター等による注意喚起を実施

市町村支援等

○TEC-FORCE 358名が自治体所管施設の被災状況を調査 ※19日347名

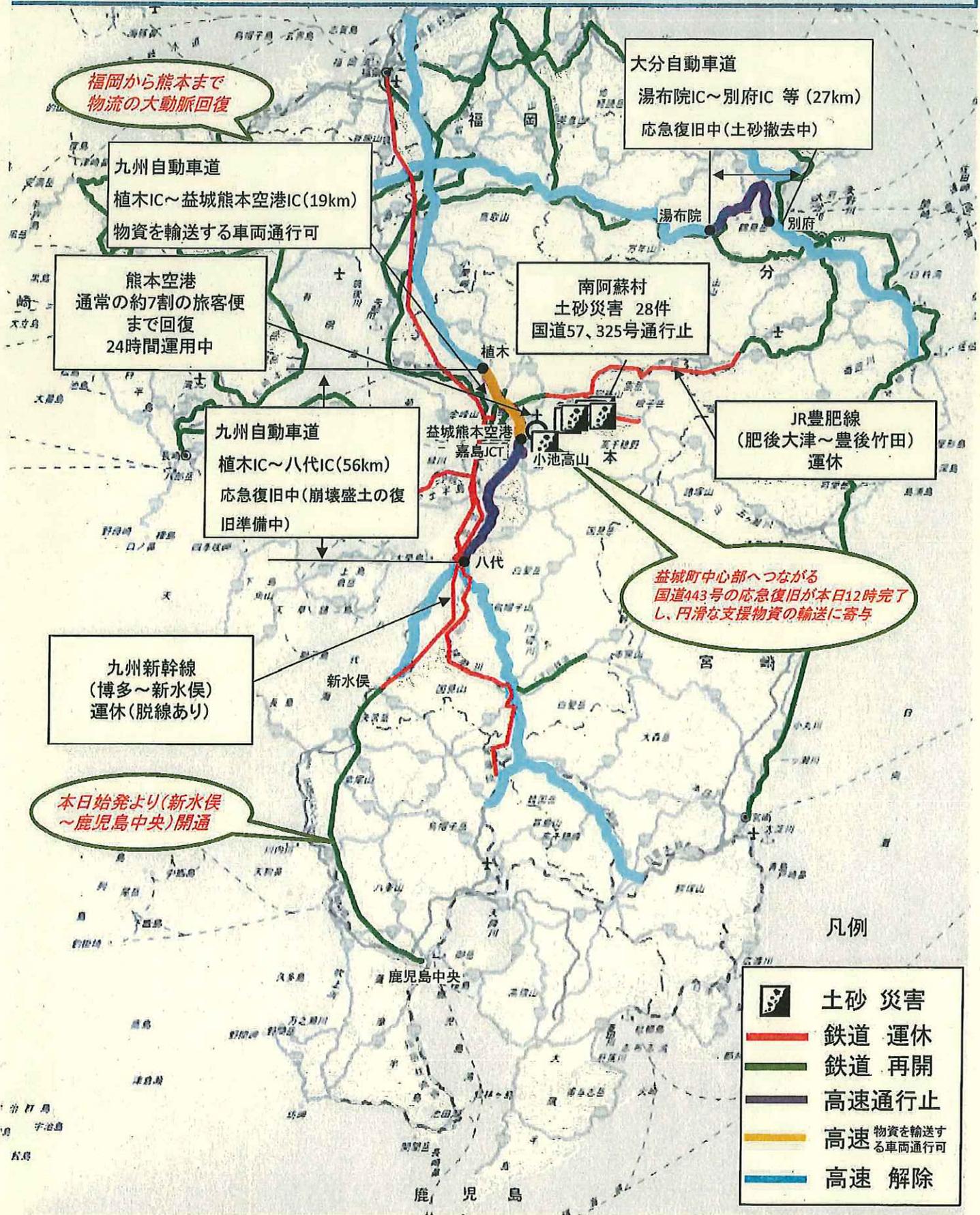
○リエゾン 47名 ※19日47名派遣

- 熊本県庁6、熊本県現地対策本部2、熊本市3、益城町4、御船町2、嘉島町3、西原村3、南阿蘇村4、菊池市2、宇土市2、大津町2、大分県庁4、阿蘇市2、高森町3、菊陽町2、甲佐町2、JR九州1

○照明車、対策本部車、衛星通信車等 83台

○海洋環境整備船及び海上保安庁巡視船等 45隻・日※熊本、八代等5港

熊本地方を震源とする地震について(国土交通省関連)
4月20日15時00分現在



福岡から熊本まで
物流の大動脈回復

九州自動車道
植木IC～益城熊本空港IC(19km)
物資を輸送する車両通行可

熊本空港
通常の約7割の旅客便
まで回復
24時間運用中

九州自動車道
植木IC～八代IC(56km)
応急復旧中(崩壊盛土の復
旧準備中)

九州新幹線
(博多～新水俣)
運休(脱線あり)

本始発より(新水俣
～鹿児島中央)開通

大分自動車道
湯布院IC～別府IC等(27km)
応急復旧中(土砂撤去中)

南阿蘇村
土砂災害 28件
国道57、325号通行止

JR豊肥線
(肥後大津～豊後竹田)
運休

益城町中心部へつながる
国道443号の応急復旧が本日12時完了
し、円滑な支援物資の輸送に寄与

- 凡例
- 土砂 災害
 - 鉄道 運休
 - 鉄道 再開
 - 高速 通行止
 - 高速 物資を輸送する車両通行可
 - 高速 解除

平成 28 年熊本地震に係る環境省の対応について

(災害廃棄物等関係)

1. 被害状況等 (概要)

(1) 熊本県

○熊本市、南阿蘇村、^{にしはらむら}西原村、^{ましきまち}益城町その他市町村で全壊 1,453 棟、半壊 1,310 棟、一部破損 939 棟、その他被害状況を調査中のものが 4,849 棟、合計で 8,551 棟の家屋被害が発生 (4/20 (水) 11 時半熊本県情報)。

○県内各市町村で災害廃棄物の仮置場が順次設置され (24 市町村で合計 40)、災害廃棄物を搬入中 (4/18 (月) 14 時熊本県情報)。

熊本市、^{うとし}宇土市及び^{うきし}宇城市においては、市内のごみ集積所に、災害廃棄物を搬入中。

※災害廃棄物発生量の推計に家屋被害情報が必要となる。

○一般廃棄物処理施設の被災・稼働状況の詳細を随時確認中。

(2) 大分県ほか

○大分県内で半壊 3 棟、一部破損 23 棟の家屋被害が発生 (4/19 (火) 16 時半大分県情報)。

○宮崎県内で半壊 1 棟、一部破損 13 棟の家屋被害が発生 (4/19 (火) 7 時宮崎県情報)。

○福岡県内で一部破損 225 棟の家屋被害が発生しているが、全壊・半壊したとの情報はない (4/19 (火) 17 時福岡県情報)。

○災害廃棄物の発生状況と一般廃棄物処理施設の被災状況を確認中。

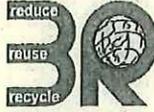
2. 環境省の対応状況

4 月 14 日 ○各地方環境事務所に対して (前震による) 被害状況の収集を指示 (21:45)

- 4月18日 ○片付けごみの円滑・適切な処理について、県を通じて市町村への助言・指導を実施
- 大分県庁内（大分市）に、現地支援チームの事務室を開設
- 環境省福岡事務所内（福岡市）に、九州ブロック広域支援チームの事務室を開設
- 一次仮置場の設置数を当初の設置数21箇所から40箇所に倍増
- 4月19日 ○仮設トイレ等のし尿を適正かつ円滑・迅速に収集・運搬、処理するために、避難所の仮設トイレの設置数や稼働状況等を確認するとともに、処理施設の稼働状況を確認（県内の21施設のすべてで受入れを実施中）
- 集積された生活ごみや片付けごみが山積み状態となっている益城町に対して、全国都市清掃会議を通じて神戸市からのごみ収集車の派遣を要請
- 神戸市からのごみ収集車の派遣支援についてプレスリリース（神戸市同時発表）
- 4月20日 ○神戸市からの先遣隊が^{ましきまち}益城町に到着し、現地調査を実施予定

3. 今後の予定

- 月内にも各地で本格化が想定される災害廃棄物の仮置場への搬入と
その後の処理に備えて、①災害廃棄物の発生量の推計、②被災自治体における災害廃棄物処理実行計画の策定支援等を開始。



報道各社御中 ← 環境省広報室

平成 28 年 4 月 19 日 (火)

平成 28 年熊本地震に係る廃棄物処理に対する 神戸市からの支援について

平成 28 年熊本地震に係る廃棄物処理について、環境省から公益社団法人全国都市清掃会議に対して、熊本県益城町等の生活ごみや片づけごみの収集運搬体制の強化について支援要請をしたところ、同会議より神戸市に対してごみ収集車の派遣要請がなされました。

現地の詳細な状況を確認するため、神戸市より 4 月 20 日 (水) に先遣隊を派遣し、先遣隊の現地調査を踏まえ、4 月 21 日 (木) から約 2 週間を目途にごみ収集車を派遣いただくこととなりました。

1 支援内容

益城町におけるごみステーションや道路において、生活ごみや片付けごみが積み上がっている状況を早急に改善すべく、収集体制の強化のため、ごみ収集車を当該町に派遣し、ごみステーションや道路に出されている家庭ごみ、粗大ごみ、がれき等を分別収集し、所定の場所に運搬する。

2 派遣先

熊本県益城町など

3 派遣期間

4 月 20 日 (水) (予定) から (作業車到着後約 2 週間を目途とし、1 週間で第 2 陣と交替)

4 派遣人員・車両 (想定)

作業員 (環境技術手) のほか、隊長等を含め 20 人程度
作業車 6 台程度 (そのほか連絡車等)

(参考) 全国都市清掃会議について

廃棄物処理事業を実施している市区町村・一部事務組合等で組織する公益社団法人。東日本大震災に際しても、同会議が会員都市による支援の調整を行った。

平成 28 年熊本地震に係る環境省の対応について
(熊本市の生活ごみの収集・運搬体制の強化)

- 熊本市長から福岡市長に対して、廃棄物対策に関して支援を要請
(4月19日深夜)
- 明日(4月21日)から福岡市のパッカー車が3台派遣されることが決定。
- 熊本市内の集積所に山積みとなっている生活ごみ等の収集・運搬を実施予定。
- 収集した生活ごみ等の処理については、順次、熊本市から福岡市に搬入し、福岡市内のごみ処理施設において受入れを実施予定。

環境省

平成28年熊本地震に係る災害廃棄物等の処理の行程表(案)

対象施策分野:災害廃棄物等

① 現状と課題

<現状>

- 熊本市、南阿蘇村、西原村(にしはらむら)、益城町(ましきまち)その他市町村で全壊1,174棟、半壊1,305棟、一部破損924棟、その他被害状況を調査中のものが2,429棟、合計で5,832棟の家屋被害が発生(4/19(火)16時半熊本県情報)。
- 県内各市町村で災害廃棄物の仮置場が順次設置され(24市町村で合計40)、災害廃棄物を搬入中。(4/18(月)14時熊本県情報)
- 一般廃棄物処理施設の被災・稼働状況の詳細を随時確認中。

<課題>

- し尿、生活ごみの収集・運搬と適正処理
- 大量の発生が想定される災害廃棄物の適正処理

② 早急に達成すべき目標(仮復旧等)

<目標時期>~1ヵ月程度

<達成目標>し尿、生活ごみの収集体制の復旧

<取組内容等>

- 県内外から、収集・運搬車両の派遣を受ける
- 一次仮置場の増強と適正管理

③ 本格復旧に向け達成すべき目標

<目標時期>災害廃棄物の発生量を踏まえて設定

<達成目標>災害廃棄物の処理の完了

<取組内容等>

- 災害廃棄物の発生量の推計
- 被災自治体における災害廃棄物処理実行計画の策定
- 二次仮置場の設置
- 災害廃棄物の処理

平成28年(2016年)熊本県熊本地方を震源とする地震 避難所及び避難者状況

※これは速報であり、数値等は今後もかわることがある

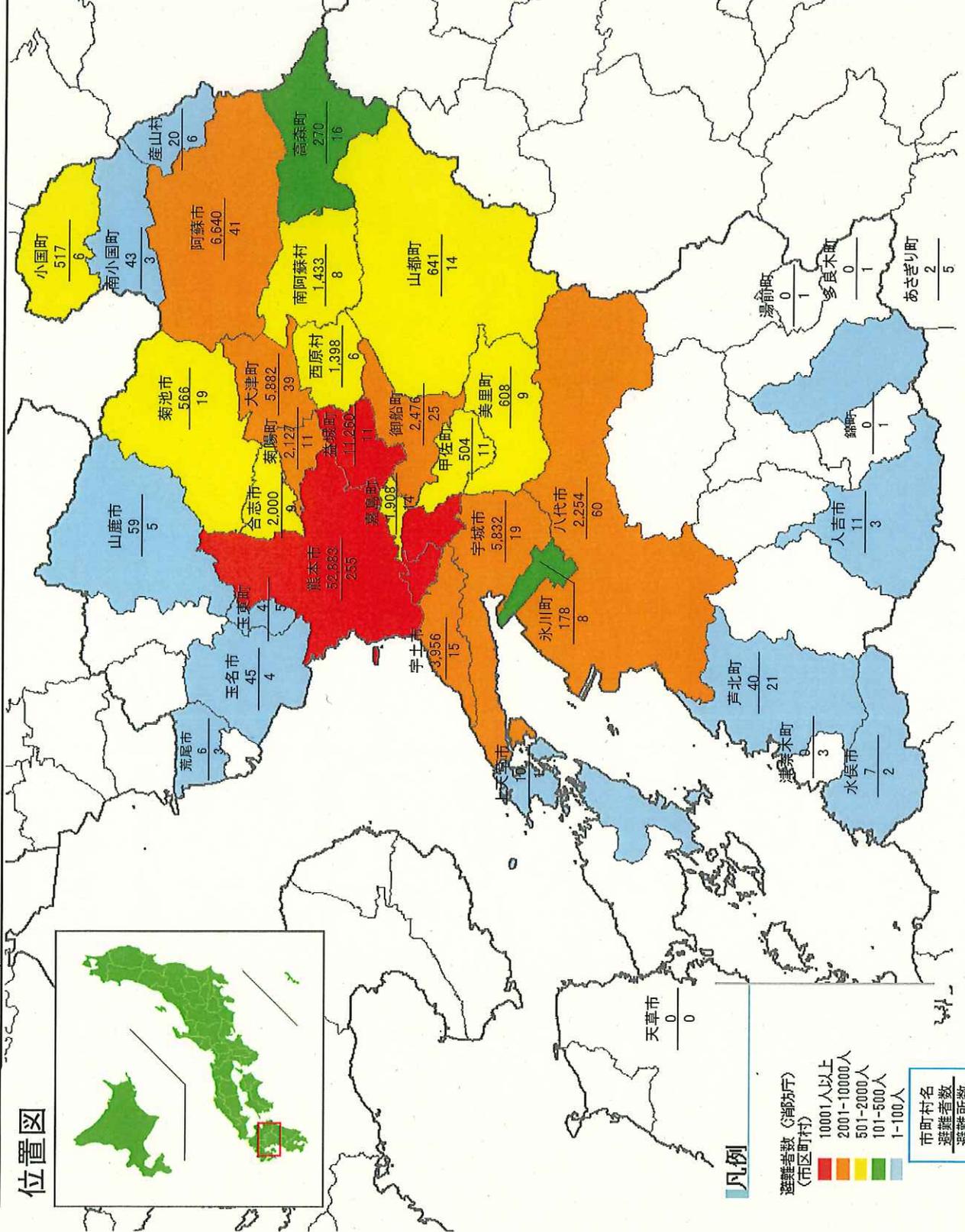
内閣府

位置図



(避難者数は 4月20日09時00分時点)

都道府県	市区町村	避難所数	避難者数	備考
熊本県	熊本市	660	103380	(36市町村)
	八代市	255	52883	
	人吉市	60	2254	
	荒尾市	3	11	
	水俣市	3	6	
	玉名市	2	7	
	山鹿市	4	45	
	菊池市	5	59	
	宇土市	19	566	
	宇土市	15	3956	
	上天草市	1	10	
	宇城市	19	5832	
	阿蘇市	41	6440	
	天草市	0	0	
	合志市	9	2000	
	下益城郡美里町	9	608	
	玉名郡玉東町	5	4	
	菊池郡大津町	39	5882	
	菊池郡菊陽町	11	2127	
	阿蘇郡南小国町	3	43	
	阿蘇郡小国町	6	517	
	阿蘇郡産山村	6	20	
	阿蘇郡高森町	16	270	
	阿蘇郡西原村	6	1398	
	阿蘇郡南阿蘇村	8	1433	
	上益城郡御船町	25	2476	
	上益城郡嘉島町	14	1908	
	上益城郡益城町	11	11260	
	上益城郡甲佐町	11	504	
	上益城郡山都町	14	641	
	八代郡氷川町	8	178	
	葦北郡芦北町	21	40	
	葦北郡津奈木町	3	0	
球磨郡錦町	1	0		
球磨郡多良木町	1	0		
球磨郡湯前町	1	0		
球磨郡あさぎり町	5	2		



凡例

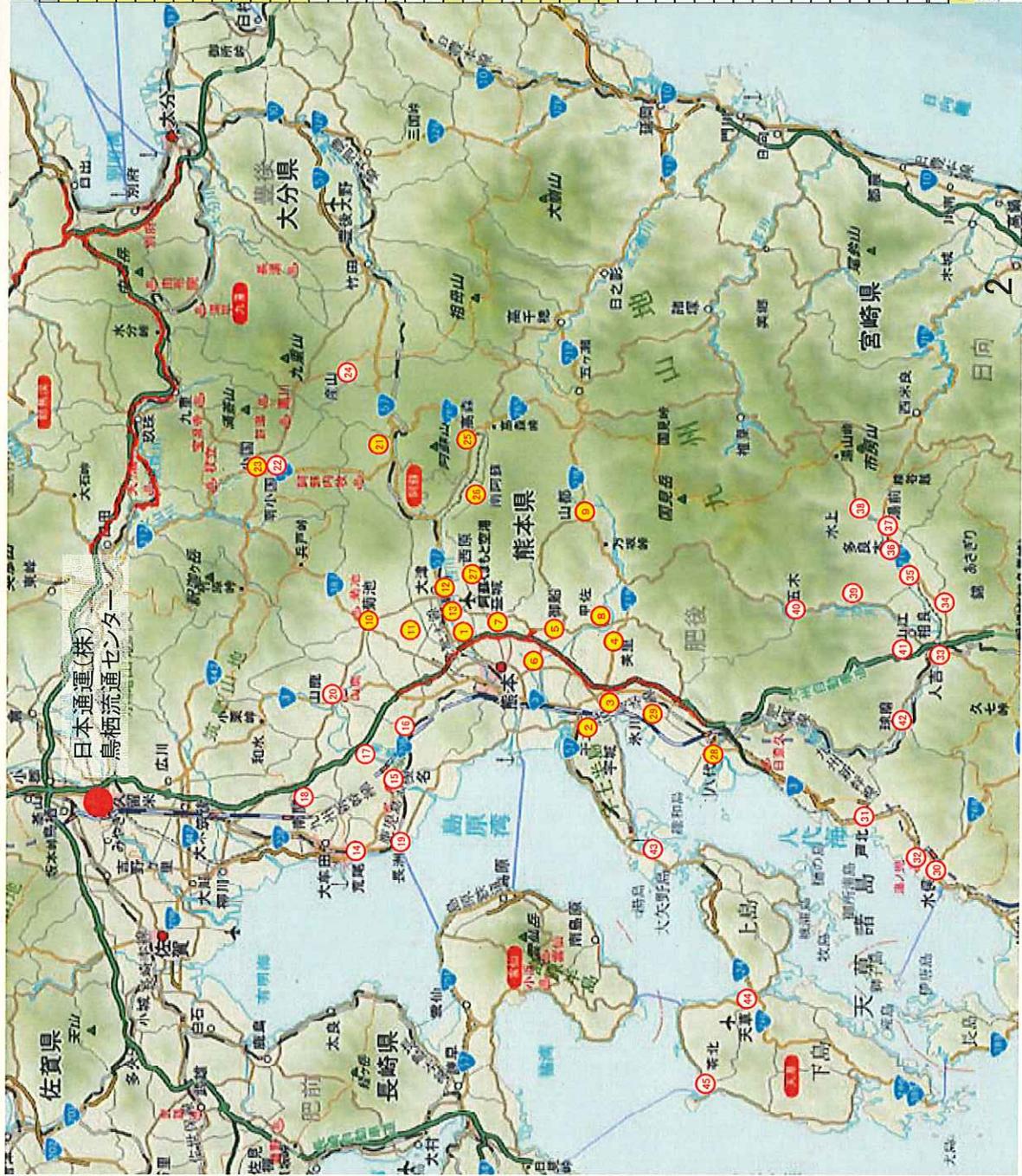
- 避難者数(消防庁)
(市区町村)
 - 10001人以上
 - 2001-10000人
 - 501-2000人
 - 101-500人
 - 1-100人
- 市町村名
避難者数
避難所数

平成28年(2016年)熊本県熊本地方を震源とする地震 支援物資(市町村拠点搬入先)

※これは速報であり、数値等は今後かわることがある

内閣府(防災担当)作成
(避難者数は4/20 09:00)

市町村拠点搬入先

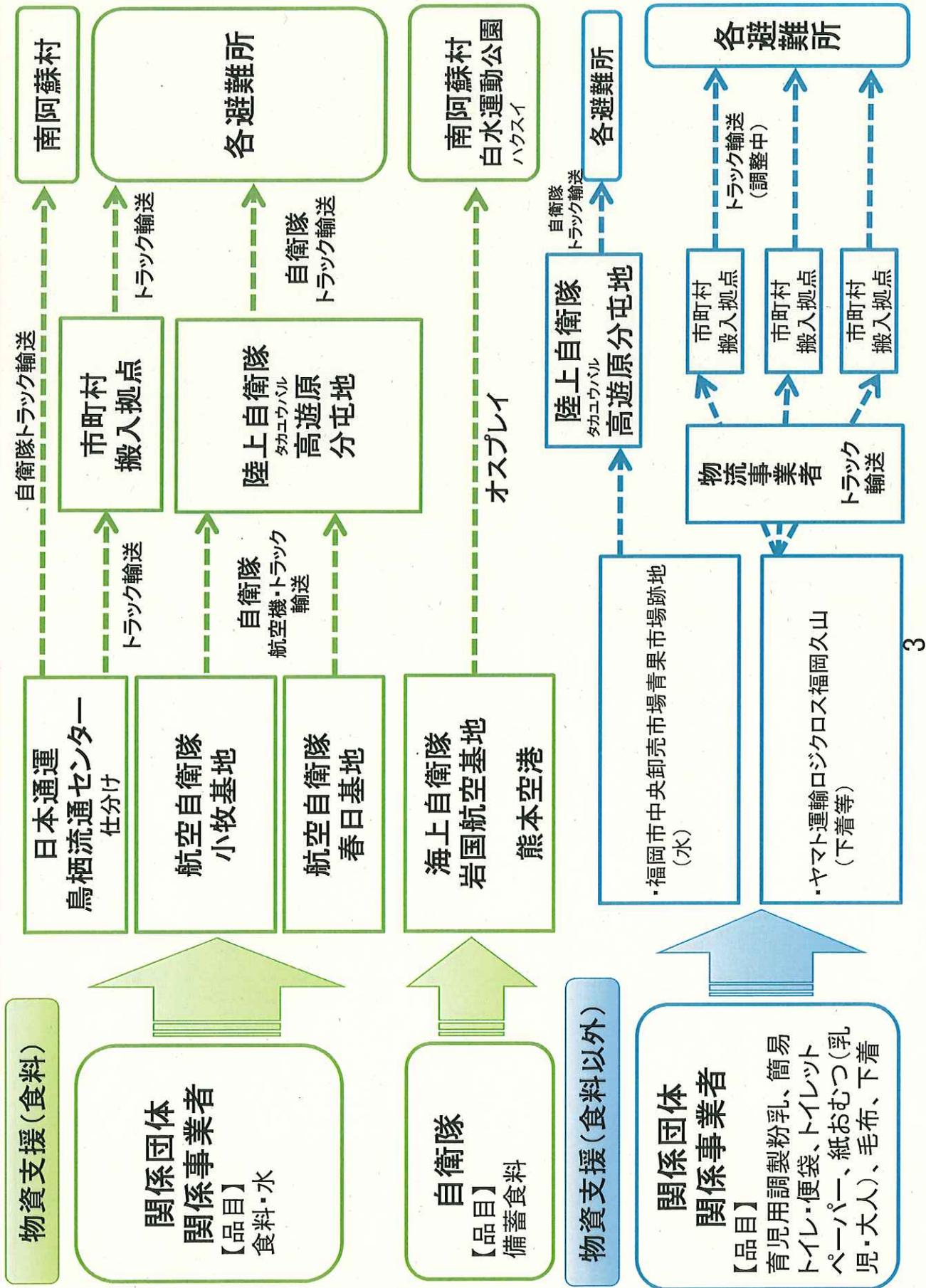


市町村拠点搬入先連絡リスト

市町村	市町村拠点搬入先	避難者数
1 熊本市	うまかな・よかなスタジアム(熊本県東区山鹿町2716)	255
2 宇土市	宇土市市民体育館(宇土市旭町504)	15
3 宇城市	宇城市市民体育館(宇城市松橋町大野85番地)	19
4 美里町	美里町公民館(美里町美里1100番地)	9
5 御船町	御船町公民館	25
6 豊後町	豊後町公民館	14
7 益城町	J.A.上益城 益城西瓜選果場(益城町田原831)	11
8 甲佐町	甲佐町公民館	11
9 山鹿町	山鹿町公民館	14
10 菊池市	菊ノ地体育館(菊池市西寺1903-1)	19
11 合志市	合志市公民館	9
12 大津町	大津中学校(大津町大津1270)	39
13 菊陽町	菊陽町公民館	11
14 鹿屋市	鹿屋市室内出目390	3
15 玉名市	玉名市役所(玉名市岩崎168)	4
16 玉泉町	玉泉町公民館(玉泉町木瀬759)	5
17 和木町	和木町公民館(和木町江田3886)	0
18 南関町		0
19 鹿野町		0
20 山鹿市	山鹿市交流センター(山鹿市山鹿987-3)	5
21 阿蘇市	阿蘇市公民館	41
22 南小国町	南小国町公民館(南小国町赤馬場143)	3
23 小国町	小国町公民館(小国町宮原1567-1)	6
24 鹿山村	鹿山村公民館(鹿山村山鹿488-3)	6
25 湯浅町	高森町公民館(高森町上見2813)	16
26 南阿蘇村	南阿蘇村公民館(南阿蘇村河原145番地3)	8
27 西原村	西原村公民館(西原村大字小森263-1)	6
28 八代市	八代市役所千丁支所(八代市千丁町新築田1502-1)	60
29 氷川町	氷川町公民館(氷川町島地642番地)	8
30 水原市	水原市役所(熊本県水原市城内一丁目1番1号)	2
31 芦北町		40
32 津久井町		3
33 人吉市	人吉健康文化館(人吉市藤町18-4)	3
34 藤町		1
35 あまごり町		5
36 多良木町		1
37 湯前町		0
38 水上町		0
39 相模村		0
40 五木村	五木町公民館(五木町甲字下字2672番地7)	0
41 山江村		0
42 津久井村		0
43 上天草市	上天草市役所大塚野庁舎(大塚野町上1514)	1
44 上天草市	上天草市役所(上天草市東浜町1号)	0
45 香北町		0
計		660

◎避難者数100人以上の市町村(20市町村)
※避難者数及び避難者数(4/20 09:00時点)
(阿蘇管内は4/19 13:30時点)

各避難所までの物資輸送イメージ(4月20日現在)



熊本地震 支援物資空輸も本格始動 福岡の物流拠点から

熊本地震の被災地支援のため、新たな物流拠点到指定された福岡市博多区の市青果市場跡地に19日、政府の支援物資が届き、一部は陸上自衛隊のヘリで空路、被災地に近い陸自駐屯地まで輸送した。避難所に支援物資が届いていないとの批判を受け、新たな物流の枠組みが始動した。



支援物資を手渡して自衛隊のヘリに積み込む福岡市の職員や自衛隊員たち＝19日、福岡市博多区の市青果市場跡地

同日、市場跡地に集まった水2リットル入りのペットボトル約3万本を、陸自西部方面隊が輸送ヘリ5機やトラックで北熊本駐屯地(熊本市北区)と高遊原分屯地(熊本県益城町)に搬送した。その後、陸自が陸路で被災地の避難所に直接届ける。

きめ細かな物資供給について

4月20日からのプッシュ型支援第二弾においては、高齢者や乳幼児など、避難所における様々なニーズに応じたきめ細かな物資供給を実施。

現時点で、新たに供給される予定の品目の例は以下のとおり。

(食料) ※4/20 10時現在、いずれも4月20日～22日分(90万食の内数)

・レトルトおかゆ	5.4万食
・レトルトカレー	2.6万食
・ベビーフード	5千食
・介護食品	5千食
・缶詰	13万食
・栄養補助食品	10万食

(その他) ※4/20 10時現在

・肌着・下着・ソックス	約20万枚(20日中に発送)
・衛生用品	
水無シャンプー	約1万個
ウェットティッシュ	約10万個
・ガスコンロ	1,000台
・ガスボンベ	2,000本

災害救助法、住家被害認定調査及び
被災者生活再建支援制度説明会について

本日、4月20日（水）に、熊本県庁本館会議室にて、熊本県下
45市町村中、熊本市、南阿蘇村^{みなみあそむら}を含む30市町村に、下記の時間
で、災害救助法、住家被害認定調査及び被災者生活再建支援制度に
関する説明を行った。

なお、益城町^{ましきまち}については、担当者が欠席であったため、別途、益城町^{ましきまち}
に説明に行く旨、連絡を行い、受け入れ可能かどうかを検討いただ
いているところである。

1. 平成28年度熊本地震に係る災害救助事務説明会

日時：平成28年4月20日（水）9：00～10：30

場所：熊本県庁本館一階1002会議室

2. 平成28年度熊本地震に係る住家被害認定調査及び被災者生活
再建支援制度説明会

日時：平成28年4月20日（水）10：30～12：30

場所：熊本県庁本館一階1002会議室

【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

熊本県熊本地方を震源とする地震について

平成 28 年 4 月 20 日 (14:30) 現在
非 常 災 害 対 策 本 部

1. 地震の概要

- (1) 発生日時 平成28年4月16日 1:25 (本震)
(2) 震源及び規模 (暫定値)
熊本県熊本地方 (北緯32度45.2分、東経130度45.7分)、深さ12km、マグニチュード7.3
(3) 震度

【14日21:26以降に発生した震度6弱以上の地震】 (気象庁20日13:00)

14日	21:26	震度7	熊本県熊本
14日	22:07	震度6弱	熊本県熊本
15日	0:03	震度6強	熊本県熊本
16日	1:25	震度6強	熊本県熊本
16日	1:46	震度6弱	熊本県熊本
16日	3:55	震度6強	熊本県阿蘇
16日	9:48	震度6弱	熊本県熊本

【震度4以上の地震の発生推移】 (気象庁20日13:00)

14日	21時~24時	12回
15日	0時~24時	12回
16日	0時~24時	45回
17日	0時~24時	11回
18日	0時~24時	5回
19日	0時~24時	4回
20日	0時~3時	0回
	3時~6時	0回
	9時~12時	0回
	12時~13時	0回

※20日13:00現在、震度1以上を観測する地震が692回発生。

2. 九州北部地方の気象状況 (今後の見通し)

【九州北部地方の今後の見通し】

- 明日21日昼前から昼過ぎにかけて局地的に雷を伴い非常に激しい雨が降り、大雨となるおそれがある。

- 予想される雨量は1時間に40ミリから50ミリ、総雨量は100ミリから150ミリの見込み。
- 明日21日朝から昼過ぎにかけて、南または南西の風が強まり、陸上では18メートルの強い風が吹くところがある見込み。
- 地震により地盤の緩んでいる地域では土砂災害に警戒。
- 強風や低地の浸水、河川の増水、落雷、突風、高波に注意。

3. 政府の対応

(14日)

- 21:31 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- 21:36 総理指示発出
- 21:55 緊急参集チーム協議
- 22:10 非常災害対策本部設置
- 22:13 官房長官会見
- 23:21 第1回非常災害対策本部会議
- 23:25 内閣府情報先遣チーム出発
- 23:55 官房長官会見

(15日)

- 5:59 緊急参集チーム協議
- 7:40 官房長官会見
- 8:08 第2回非常災害対策本部会議
- 10:06 官房長官会見
- 10:40 非常災害現地対策本部設置
- 16:07 第3回非常災害対策本部会議
- 16:49 官房長官会見

(16日)

- 2:38 総理指示発出
- 2:38 緊急参集チーム協議
- 3:28 官房長官会見
- 5:10 第4回非常災害対策本部会議
- 5:52 官房長官会見
- 10:00 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- 11:30 第5回非常災害対策本部会議
- 12:13 官房長官会見
- 18:30 第6回非常災害対策本部会議
- 19:28 官房長官会見

(17日)

- 10:58 緊急参集チーム協議
- 11:37 第7回非常災害対策本部会議
- 12:34 官房長官会見

- 16:30 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- 17:00 被災者生活支援チーム会合
- 17:59 緊急参集チーム協議
- 18:33 第8回非常災害対策本部会議
- 19:19 官房長官会見

(18日)

- 11:24 官房長官会見
- 11:30 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- 15:59 緊急参集チーム協議
- 16:30 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- 16:34 第9回非常災害対策本部会議
- 17:43 官房長官会見

(19日)

- 10:12 官房長官会見
- 11:30 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- 16:30 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議
- 16:59 第10回非常災害対策本部会議
- 17:54 官房長官会見

(20日)

- 11:23 官房長官会見
- 15:34 第11回非常災害対策本部会議
- 16:30 政府現地対策本部・熊本県災害対策本部合同会議（予定）

4. 被害等状況（未確認情報を含む）

（1）人的被害（4月15日からの累計）（警察庁 20日 13:30）（消防庁 20日 11:00）
（人）

場 所	死亡	重傷	軽傷
福岡県	0	1	16
佐賀県	0	4	9
熊本県	48	209	879
大分県	0	4	22
宮崎県	0	3	5
合計	48	221	931

※ 捜索・救助活動中（南阿蘇村）

【南阿蘇村での活動状況】（警察庁 20日 7:00、消防庁・防衛省 20日 12:00）

警察：約 2,000 人、消防：約 1,000 人、自衛隊：約 1,700 人

(2) 建物被害 (消防庁 20 日 13:30)

都道府県名	住宅被害			非住家被害		火災 件
	全壊 棟	半壊 棟	一部 破損 棟	公共 建物 棟	その他 棟	
山口県			3			
福岡県			225		1	
佐賀県						
長崎県			1			
熊本県	1,453	1,310	939	63	56	14
大分県		3	24		2	
宮崎県		1	13			
合計	1,453	1,314	1,205	63	59	14

(3) 道路その他被害・復旧状況

● 崩落等状況 (警察庁、国土交通省)

- ・ 俵山トンネル覆工コンクリート崩落
- ・ 阿蘇大橋 (国道 325 号線) 崩壊

● 道路

[高速自動車道] (3 路線) (国土交通省 20 日 11:00)

○ 九州自動車道

【通行止め】

- ・ 植木 IC~八代 IC (緑川 PA 付近府領跨道橋が高速道路上に落橋、益城バスストップ付近盛土法面崩落、木山川渡河部橋桁ずれ、熊本 IC 付近神園跨道橋ほか 2 橋橋脚傾斜)

※ 植木 IC~益城熊本空港 IC については、物資輸送車両等が通行可能

○ 大分自動車道

【通行止め】

- ・ 湯布院 IC~別府 IC (由布岳 PA 付近土砂崩落)
- ・ 速見 IC・JCT~日出 JCT (日出 JCT 東方橋梁ジョイント損傷)

○ 九州中央自動車道

【通行止め】

- ・ 嘉島 JCT~小池高山 IC

[国道] (国土交通省 20 日 11:00)

○ 直轄国道

【通行止め】 2 区間

- ・ 国道 57 号 81K 全面通行止め (斜面崩壊等)
- ・ 国道 210 号 51K~64K 全面通行止め (落石の恐れ)

○ 補助国道通行止め: 15 区間

- その他
 - ・ 都道府県道通行止め：81 区間（国土交通省 20 日 11:00）
 - ・ 一般的に有明、宇土市から阿蘇市にかけて被害（内閣府）
- 鉄道（国土交通省 20 日 13:50）
 - 〔新幹線〕
 - 【休止路線】博多～新水俣
 - 【復旧路線】新水俣～鹿児島中央
 - 〔在来線〕運転休止：3 事業者 6 路線
 - 【休止路線】
 - ・ JR 九州：4 路線 豊肥線（肥後大津～豊後竹田）、肥薩線（八代～吉松）、三角線（全線）、鹿児島線（熊本～八代）
 - ・ 熊本電気鉄道：1 路線 菊池線（上熊本～北熊本）
 - ・ 南阿蘇鉄道：1 路線 高森線（全線）
 - 【復旧路線】
 - ・ JR 九州：豊肥線（熊本～肥後大津）、鹿児島線（荒尾～熊本）
 - ・ 熊本市交通局：全線運転再開
 - ・ 肥薩おれんじ鉄道：（全線運転再開）
 - ・ 熊本電気鉄道：藤崎線（全線）、菊池線（北熊本～御代志）
- 空港（国土交通省 20 日 11:00）
 - ・ 通常運用（大分、福岡、北九州、佐賀、長崎）
 - ・ 熊本空港：20 日より通常の 7 割運行中（24 時間利用可能）
- 河川（国土交通省 20 日 11:00）
 - ・ 被害箇所：直轄 138 箇所、補助 125 箇所
- 港湾（国土交通省 20 日 11:00）
 - ・ 被害箇所：一部液状化等（八代港、別府港）

(4) 避難状況

- 避難指示（20 日 11:00）

◆熊本県

市町村	対象世数	対象人数	発令日時	解除日時
八代市	3	12	4 月 19 日 10:30	
宇土市	72	99	4 月 18 日 10:00	
宇城市	4	12	4 月 19 日 17:30	
	22	59	4 月 19 日 19:15	
	2	5	4 月 19 日 21 時 30 分	
阿蘇市	342	922	4 月 18 日 23:15	

西原村	40	120	4月16日 15:39	4月17日 17:13
南阿蘇村	994	2,503	4月16日 16:15	
甲佐町	2	5	4月18日 18:10	
小計（発令 中）	1,441	3,617		

● 避難勧告（20日11:00）

◆ 熊本県

市町村	対象世数	対象人数	発令日時	解除日時
熊本市	2,012	4,429	4月16日 22:15	4月17日 16:00
八代市	10,905	25,433	4月16日 17:01	4月17日 11:00
菊池市	17,300	49,000	4月16日 1:36	4月18日 13:30
	700	2,000	4月18日 13:30	
宇土市	14,000	38,000	4月16日 21:40	4月17日 6:20
宇城市	9,500	24,500	4月16日 16:00	4月17日 8:00
阿蘇市	2,452	6,597	4月16日 19:15	4月17日 15:00
	214	569	4月19日 7:30	
	204	605	4月19日 14:30	
美里町	4,262	10,752	4月16日 16:00	4月17日 13:45
	76	229	4月17日 13:45	
大津町	13,531	34,090	4月16日 3:44	
南小国町	1,772	4,271	4月16日 17:00	4月17日 11:20
小国町	3,083	7,477	4月16日 17:00	4月17日 6:43
産山村	627	1,584	4月16日 13:00	4月18日 12:00
	627	1,584	4月18日 20:52	
高森町	2,866	6,743	4月16日 19:00	

西原村	148	385	4月16日 10:19	4月17日 17:13
御船町	7,133	17,681	4月16日 22:00	
益城町	30	不明	4月19日 22:02	
甲佐町	4,299	11,028	4月16日 16:50	
小計（発令中）	29,680	74,529		

◆大分県

市町村	対象世数	対象人数	発令日時	解除日時
中津市	16	27	4月16日 17:30	4月18日 7:00
小計（最大値）	16	27		

● 避難所の状況（消防庁）

- ・ 熊本県：660箇所、避難者数：103,380人（20日9:00）
- ・ 大分県：38箇所、561人（20日7:00）
- ・ 福岡県：15箇所、22人（20日10:00）
- ・ 宮崎県：避難所閉鎖
- ・ 長崎県：2箇所、6人（20日10:00）

（5）物資・生活支援（内閣府 20日06:00）

- 飲料・水・毛布等の物資の調達及び被災地への供給について、内閣府に関係省庁が集まって一元的な調整を実施。調達物資について、日本通運鳥栖流通センター（佐賀県鳥栖市）に搬入した後、各市町村に直接供給される予定。
- 支援物資発送予定（20日分）

食料	約51万食
うち パン	約5万食
カップ麺	約15万食
おにぎり	約5万食
その他	約26万食
水	約3万本
粉ミルク	約0.3ト
簡易トイレ	約0.4万個
下着	約20万枚

(6) 原子力発電所の状況 (原子力規制庁 20日 13:30)

発電所名 (電力会社)	立地市町村	状況	立地市町村最大震度 (日時)
玄海 (九州)	佐賀県玄海町	異常なし	3 (16日 1:26)
川内 (九州)	鹿児島県薩摩川内市	異常なし	4 (16日 1:26)
伊方 (四国)	愛媛県伊方町	異常なし	4 (16日 1:26)
島根 (中国)	島根県松江市	異常なし	3 (16日 1:26)

(7) ライフライン等の状況

● 電力 (経済産業省)

- 九州電力: 熊本県で約 3,400 戸が停電 (20日 14:00)

※ 阿蘇市、南阿蘇村を除いて復旧完了 (20日 06:00)。本日 (20日) の停電解消を目指して作業中。

※ 停電している地域には、全国の電力会社の協力を得て、電源車を配備。

※ 経済産業省は、18日、九州電力から、熊本県全市町村での小売料金及び託送料金に係る特別措置 (料金支払期日の延長、電気料金の免除等) に関する認可申請を受け、同日認可。

● ガス (経済産業省)

【西部ガス (都市ガス)】

- 熊本市周辺 10万 5,000 戸の供給停止。20日には供給停止が 9万 8,300 戸まで減少予定。(20日 12:00)

- 行政施設、体育館、医療施設等の 41 施設は復旧、医療施設 3ヶ所に臨時供給中

※ 経済産業省は、18日、西部ガスから、熊本県内の供給区域 (熊本市等) の小売料金に係る特別措置 (料金の支払期日の延長、ガス料金の免除等) に関する認可申請を受け、同日認可。

【LPガス】 (19日 13:30)

- LPガス充填所: 熊本県内にある 41 箇所の充填所については、すべて営業

● 石油 (コンビナート・SS) (経済産業省 20日 13:00)

- 熊本県内の全 SS (797 箇所) のうち、727 箇所 (9割超) の稼働を確認。中核 SS (34) はすべて稼働中

● 水道

- 断水戸数 19市町村 9万 1,363 戸 (うち熊本県 9万 282 戸、うち熊本市 5万 8,000 戸) (厚生労働省 20日 9:00)

- 全戸断水: 西原村 (厚生労働省 20日 9:00)

※ 19日の地震後の断水戸数は現在確認中

- 下水道: 一部施設で被害があるが、処理機能は確保 (国土交通省 20日 11:00)

● 通信 (総務省 20日 12:00)

○ 固定電話

- 熊本エリア: 300回線すべて復旧

- 特設公衆電話: 34台、衛星携帯電話: 623台、無料公衆無線 LAN アクセスポイント

ント：242 台、ポータブル衛星装置：39 台、携帯電話充電器（マルチチャージャ）236 台を避難所・行政機関に配備。

○ 携帯電話・PHS の停波状況：合計 133 局（携帯電話 85 局、PHS 48 局）

- ・ NTTドコモ：10 局停波（熊本 10 局）
- ・ KDDI（au）：14 局停波（熊本 14 局）
- ・ ソフトバンク：【携帯電話】61 局停波（熊本 60 局、大分 1 局）
【PHS】48 局停波（熊本 48 局）

※ NTTドコモ及びKDDIは、全ての市町村役場をカバーしている。

※ 避難所における携帯電話による通信は、概ね可能

○ 九州全域で公衆無線 LAN サービス及びワイヤ・アンド・ワイヤレスを無料開放。

● 小売

- ・ 熊本県内のコンビニエンスストア主要 3 社（経済産業省 20 日 12:00）（セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート）の状況：営業中 572、休止中 21
- ・ 熊本県内のスーパーマーケット主要 4 社（経済産業省 20 日 12:30）（イオン、イズミ、サンリブ、西友）の状況：営業中 45、休止中 12

(8) 医療施設等の状況（厚生労働省 20 日 14:00）

- ・ 建物損壊のリスクがある医療施設 7 箇所、ライフラインに問題がある医療施設 19 箇所
- ・ 高齢者施設（全 1,234 施設）：人的被害は 14 件 24 名（人命にかかる被害はなく、外傷・転倒・骨折等）。物的被害 312 施設
- ・ 障害児・者入所施設、熊本労災特別介護施設等：人的被害なし
- ・ 児童福祉施設等（全 30 施設）：人的被害なし。物的被害は 15 施設

(9) 災害廃棄物関係（環境省 20 日）

- ・ 熊本県内各市町村で災害廃棄物の仮置場が順次設置され（24 市町村、合計 40）、災害廃棄物を搬入中
- ・ 熊本市、宇土市及び宇城市においては、市内のごみ集積所に災害廃棄物を搬入中

5. 各省庁等の派遣状況

(1) 海上保安庁（20 日 13:30）

- ・ 巡視船艇 11 隻、航空機 3 機、機動救難士等 6 名
- ・ 巡視船艇 7 隻が給水等の住民支援を実施中

【14 日以降のべ数】

船艇のべ 205 隻、航空機のべ 44 機

特殊救難隊のべ 18 名、機動救難士等のべ 31 名

(2) 警察庁（20 日 13:30）

- ・ 警察災害派遣隊 1,947 人、ヘリ活動 11 機
- ・ 避難所の被災者へ相談等を通じて不安軽減を図る各県部隊（福岡・佐賀・長崎・鹿児島）20 人及び「警視庁きずな隊」23 人を派遣

- ・ 被災（不在）家屋における盗難防止を図る「特別自動車警ら部隊」23台68人を派遣
- 【被災県体制】
 - 熊本県警察 本部長以下2,200人
- (3) 消防庁（20日13:30）
 - ・ 緊急消防援助隊 537隊1,958人（ヘリ18機含む）
 - ・ 熊本県内消防本部、435人（常備）
 - ・ 消防団（熊本県内）3,239人
- (4) 防衛省・自衛隊（20日12:00）
 - ・ 統合任務部隊（JTF）編成（指揮官：西方総監）22,000人活動中
 - ・ 以降26,000人態勢に移行
 - ・ 航空機114機（うち、ヘリ90機）、艦艇12隻
 - ・ 即応予備自衛官の招集命令等を発出（最大約300人）
- (5) 厚生労働省（20日9:00）
 - ・ DMAT107隊（その他 50隊移動中、182隊待機中）
 - ・ ドクターヘリ2機活動中
 - 【自衛隊航空機等によるDMATチーム・DMATロジスティックチームの派遣】
 - 16日 16:45 DMATロジスティックチーム（15人）（埼玉県入間基地より）
 - 16日 19:14 DMAT医療チーム（北海道千歳基地から39人）
 - 16日 19:55 DMAT医療チーム（宮城県松島基地から40人）
 - ・ 給水車101台確保（81台が応急給水を実施、20台待機中）
- (6) 国土交通省（20日11:00）
 - ・ リエゾン47名（2県13市町村等）
 - ・ 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）等358人
 - ・ 防災ヘリ3機、災害対策用機械等83台
（活動内容：橋梁等点検調査、道路被災等調査、UAVによる緊急撮影を実施。）
- (7) ヘリの活動状況
 - 【宮崎県】
 - ・ 防災救急ヘリ「あおぞら」を熊本県に派遣
 - 【防衛省】
 - ・ 東海大学学生寮の孤立者救助活動（警察と連携）
 - 【海上保安庁】
 - ・ 航空機（MH）（鹿児島基地ヘリ、「おおすみ」搭載ヘリ）は熊本県の要請を受け、機動救難士及び潜水土士を同乗させ出発。南阿蘇地区（東海大学農学部）にて、救助された負傷者2人を大分県立病院へ搬送済。搬送先病院から東海大学へDMAT2人及び看護師1人を輸送
 - 【消防】
 - ・ 高知県ヘリ、長崎県ヘリ、京都府ヘリ、山口県ヘリ、広島市消防局ヘリ、岡山市消防局ヘリ、東京消防庁ヘリ 阿蘇地域等上空から情報収集
 - ・ 高知県ヘリ 情報収集中、南阿蘇村立野地区で発見した孤立被災者2名を救助

- ・ 鹿児島県へリ 南阿蘇村ペンションメルヘン村の孤立被災者2名を救助
- ・ 広島県へリ 南阿蘇村河陽地区の2箇所て孤立被災者2名を救助
- ・ 広島県へリ 山口県へリ 南阿蘇村河陽地区の2箇所て孤立被災者2名を救助
- ・ 鳥取県へリ 上益城で孤立避難者1人救出
- ・ 山口県へリ、香川県へリ、愛媛県へリ 西原村の孤立被災者26名を救助

【警察】(20日13:30)

- ・ 南阿蘇地区を中心とした被災情報の収集
- ・ 行方不明者の搜索
- ・ 物資(携帯電話等充電器等)空輸

6. その他各省庁の対応

(1) 気象庁

- ・ 14日23:37以降、20日13:00までに14回の記者会見を実施。

(2) 原子力規制庁(18日)

- ・ 18日10:30 原子力規制委員会 臨時会議開催
- ・ 18日11:23 原子力規制委員会 委員長記者会見



政府からのお知らせ No.1

熊本地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
お近くに目の不自由な方がいらっしゃいましたら、このお知らせの内容をお伝えいただけますよう、お願いいたします。

物資

衛生関係等の物資支援の状況は次のとおりです。

日	品目	数量	状況
4月19日	ウェットティッシュ	102,240	21日に全て発送予定。92,400は22日に、9,840は23日に到着予定。
4月19日	ボディシート	10,000	20日に発送、21日に到着予定。
4月19日	水無シャンプー	10,000	3,600は20日に発送、21日に到着予定。
4月19日	歯磨きシート	2,300	手配中。準備でき次第発送。
4月19日	液体歯磨・洗口液	720	手配中。準備でき次第発送。
4月19日	下着	200,492	84,800は19日に到着済。115,692は20日に発送済。
4月19日	化粧水	確認中	手配中。準備でき次第発送。
4月19日	ガスコンロ	1,000	19日に到着済。
4月19日	ガスボンベ	2,000	19日に到着済。
4月19日	カーペット/タイルカーペット	1,000/1,000セット	手配中。準備でき次第発送。

電気

停電（12時現在 4,200戸）は、本日（4月20日）中に解消します。

情報



①首相官邸ホームページ
「熊本地震被災者の皆さまへ 政府応援情報」

http://www.kantei.go.jp/jp/headline/saigai/kumamoto_hisai.html



②ツイッター
「熊本地震被災者の皆さまへ 政府応援情報」

[@kantei_hisai](https://twitter.com/kantei_hisai)